

中津江アンケート調査結果

1. 調査目的

地域で暮らしていくために、「重要」と思うことと、「満足」していることの評価、また、困りごとや、困っている人を手伝えることなどについて、今後のまちづくりの参考とするため、16歳以上の方を対象にアンケートを実施する。

2. 調査要領

- (1) 調査対象者 中津江在住の16歳以上の方（施設等に入所している方、並びに現在市内に居住されていない方は除く）
- (2) 調査期間 平成29年4月26日（水）～5月15日（月）
- (3) 内容 中津江地域の暮らしについて調査。設問は別紙のとおり。

3. 調査実績

調査数：374世帯 738名

回答数：628名（回答率85.1%）

野田自治会 167名（回答率89.8%）

川辺自治会 274名（回答率84.6%）

丸蔵自治会 109名（回答率85.2%）

鯛生自治会 78名（回答率78.0%）

※内訳は別紙のとおり

4. 調査結果

(1) 回答者属性

①【性別】

回答者の性別は、男女比率がほぼ等しかった。

回答者の性別は、男性が 302 人で約 48%、女性が 325 人で約 52%であった。

項目	男	女	その他	未回答
人数	302人	325人	0人	1人
%	48%	52%	0%	0%

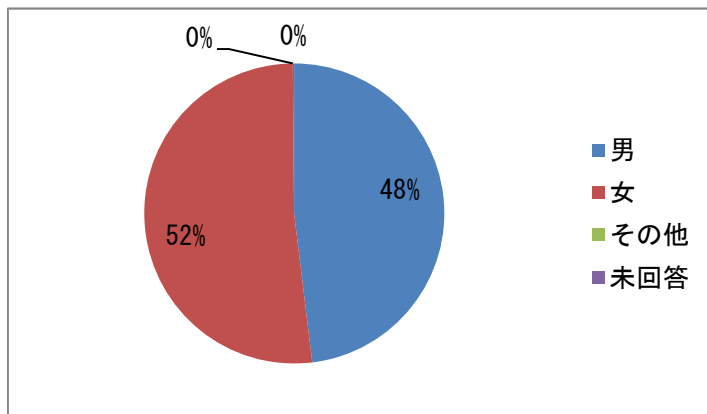


図 回答者の性別

②【年齢】

回答者の多くは高齢者であり、60代以上は約7割であった。

回答者の多くは高齢者であり、60代以上は 405 人で約 65%であった。

項目	10代	20代	30代	40代	50代
人数	15人	17人	27人	67人	96人
%	2%	3%	4%	11%	15%

60代	70代	80代	90代以上	未回答
123人	120人	134人	28人	1人
20%	19%	21%	5%	0%

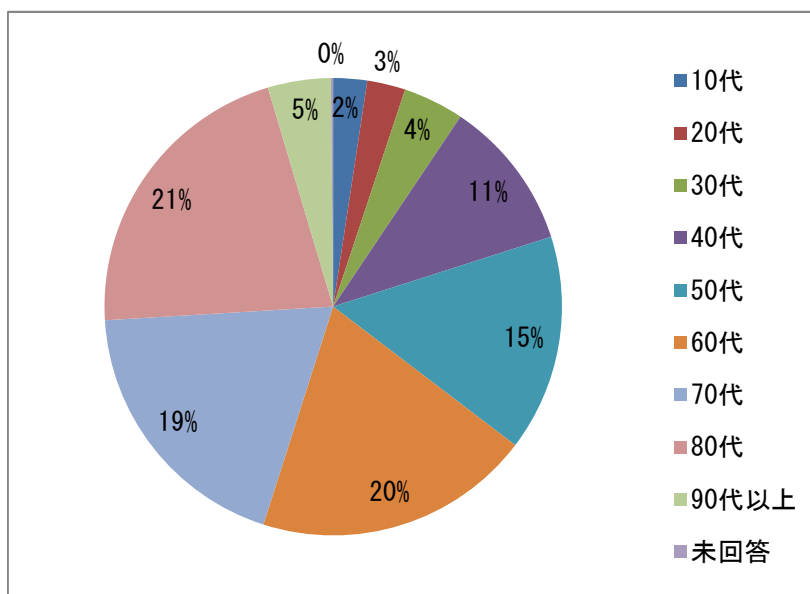


図 回答者の年代

③【自動車運転免許証】

回答者の約 3 割が自動車運転免許証を所有していない。

回答者のうち、自動車の運転免許証について、無い、返納済みと回答したのは合わせて 163 人で約 26%だった。また、年代別に見ると、10 代、80 代、90 代以上については、所有していない比率が所有している比率を上回っている。

項目	有る	無い	返納済	未回答
人数	464人	149人	14人	1人
%	74%	24%	2%	0%

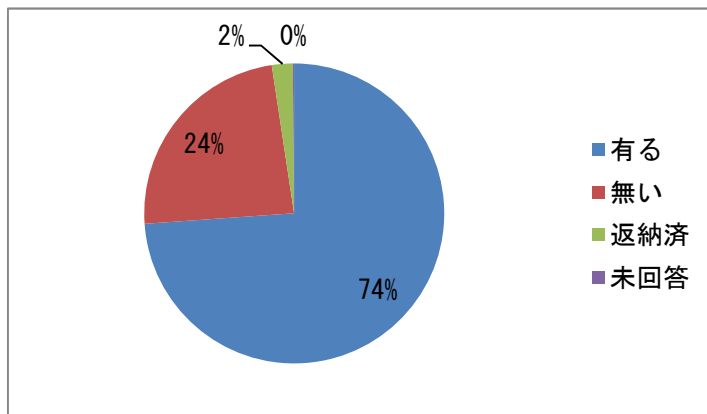


図 回答者の自動車運転免許証の有無

年代	免許がある		免許がない		返納済み		合計
	人数	%	人数	%	人数	%	
10代	3	20%	12	80%	0	0%	15
20代	16	94%	1	6%	0	0%	17
30代	25	93%	2	7%	0	0%	27
40代	64	96%	3	4%	0	0%	67
50代	94	98%	2	2%	0	0%	96
60代	116	94%	7	6%	0	0%	123
70代	83	69%	33	28%	4	3%	120
80代	61	46%	66	49%	7	5%	134
90代以上	2	7%	23	82%	3	11%	28

④【中津江地域在住期間】

中津江地域に 8 年以上在住の方は、約 9 割であった。

生まれてからずっと住まわれている方が 320 人で約 51%、転入後 8 年以上住まわれている方が 256 人で約 41%であった。

項目	生まれてからずっと	転入1年	転入2年	転入3年	転入4年
人数	320人	22人	4人	5人	3人
%	51%	4%	1%	1%	0%

転入5年	転入6年	転入7年	転入8年以上	未回答
3人	2人	2人	256人	11人
0%	0%	0%	41%	2%

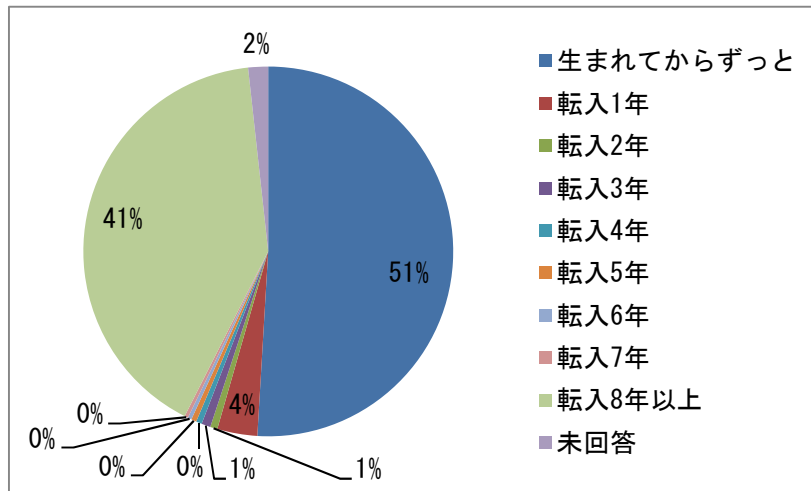


図 回答者の中津江地域在住期間

⑤【世帯の構成】

回答者の約 8 割が同居しており、約 1 割が一人暮らしである。

世帯構成についてみると、単身が 91 人で約 14%、同居している世帯は、親子（2 世代）が 257 人で約 41%、次いで夫婦が 191 人で約 30%、親子（3 世代）が 67 人で約 11%であった。

項目	単身	夫婦	親子(2世代)	親子(3世代)	その他	未回答
人数	91人	191人	257人	67人	18人	4人
%	14%	30%	41%	11%	3%	1%

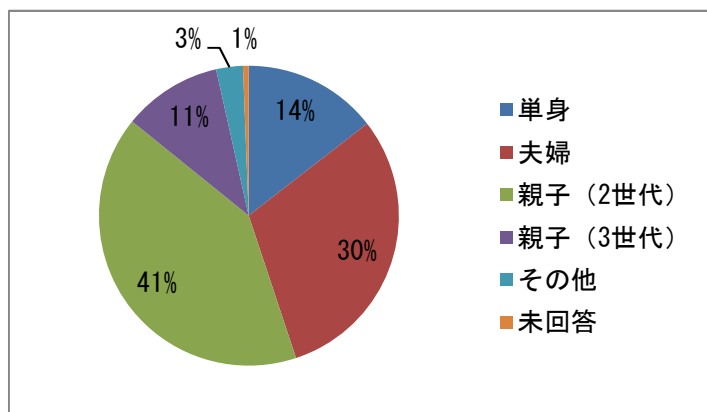


図 回答者の世帯構成

⑥【世帯の主な職業】

世帯の主な職業についてみると、有職と答えた人が約 7 割、無職と答えた人が約 3 割であった。

世帯の主な職業についてみると、無職が 210 人で約 34%、次いで会社員、公務員が 148 人で約 24%、農林業が 132 人で約 21%、自営業が 84 人で約 13%、パート、アルバイトが 46 人で約 7%であった。

項目	農林業	会社員、公務員	自営業	パート、アルバイト	無職	未回答
人数	132人	148人	84人	46人	210人	8人
%	21%	24%	13%	7%	34%	1%

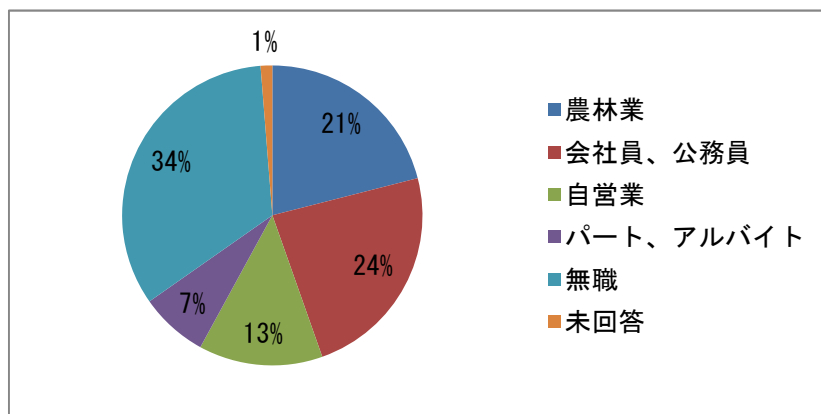


図 回答者の世帯の主な職業

⑦【18 歳以下の子どもの有無】

18 歳以下の子どもがいると答えた人は約 1 割であった。

18 歳以下の子どもの有無についてみると、あると答えた人は約 13%であり、小学生が 24 人、次いで中学生、高校生共に 22 人、幼稚園又は保育園児が 2 人であった。

項目	なし	幼稚園又は保育園	小学生	中学生	高校生	その他	未回答
人数	539人	2人	24人	22人	22人	11人	8人
%	86%	0%	4%	3%	4%	2%	1%

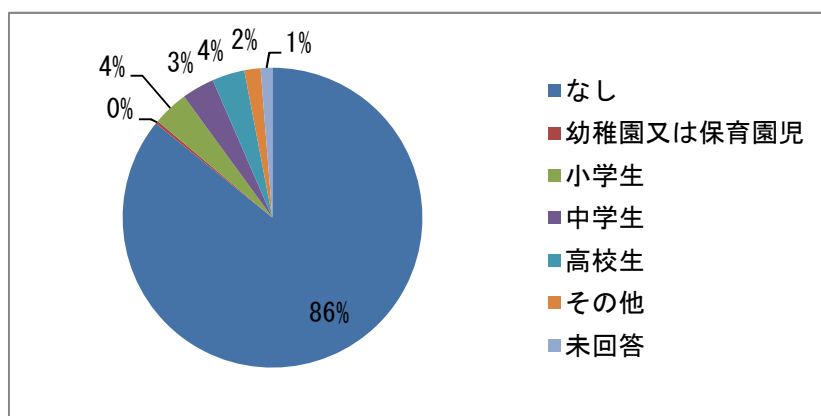


図 回答者の 18 歳以下の子どもの有無

⑧【頼りにしている子どもや親戚等が住んでいるところ】

近隣に頼りにしている子どもや親せき等が住んでいるのは約 7 割であった。

頼りにしている子どもや親戚等が住んでいるところについてみると、その他と回答したのは 187 人で約 30%、次いで市内、市外等近隣は 168 人で約 27%、中津江内は 132 人で 21%、同居しているのは 122 人で 19%であった。

項目	同居している	中津江内	日田市内、菊池市、 小国町等の近隣	その他	未回答
人数	122人	132人	168人	187人	19人
%	19%	21%	27%	30%	3%

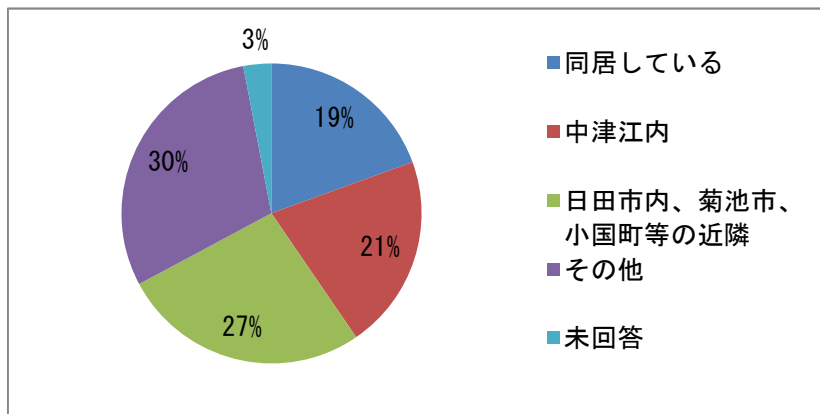


図 回答者の頼りにしている子どもや親戚等が住んでいるところ

(2) 地域に感じるもの

①【住み良さ】

住み良さについてみると、住み良い・まあ住み良いが約 63%であった。

地域の住み良さについてみると、住み良い・まあ住み良いが 400 人で約 63%、住みにくい・あまり住み良くないが 65 人で約 11%であった。また、年代別に見ると、10代、20代、50代、60代については、他の年代に比べて住みよくない、あまり住みよくないと回答する率が高くなっている。

項目	住み良い	まあ住み良い	良いとも悪いともいえない	あまり住み良くない	住みにくい	未回答
人数	183人	217人	151人	42人	23人	12人
%	29%	34%	24%	7%	4%	2%

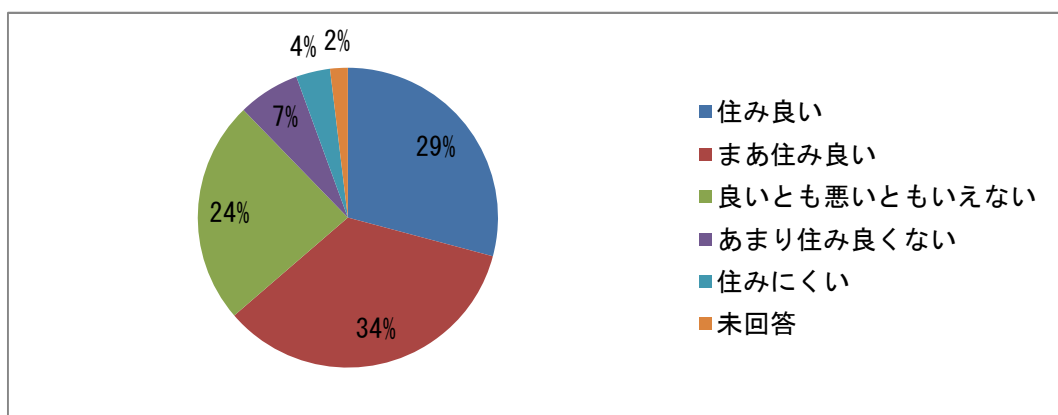


図 回答者の地域の住みよさ

年代	住み良い		まあ住み良い		良いとも悪いともいえない		あまり住み良くない		住みにくい		合計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
10代	7	50%	2	14%	3	22%	2	14%	0	0%	14
20代	5	29%	2	12%	7	41%	1	6%	2	12%	17
30代	6	22%	8	30%	10	37%	1	4%	2	7%	27
40代	16	24%	26	39%	20	30%	2	3%	3	4%	67
50代	18	19%	36	38%	27	28%	10	11%	4	4%	95
60代	32	27%	43	36%	27	22%	13	11%	5	4%	120
70代	44	38%	38	32%	24	20%	8	7%	3	3%	117
80代	45	34%	53	40%	27	20%	4	3%	4	3%	133
90代以上	10	38%	9	35%	6	23%	1	4%	0	0%	26

②【愛着】

愛着についてみると、とても感じている・やや感じているが約8割であった。

地域への愛着についてみると、とても感じている・やや感じているが486人で約78%、感じていない・あまり感じていないが39人で約6%であった。また、年代別に見ると、20代、30代については、感じていない、あまり感じていないと回答する率が10%を超えている。

項目	とても感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	感じていない	未回答
人数	218人	268人	92人	25人	14人	11人
%	35%	43%	14%	4%	2%	2%

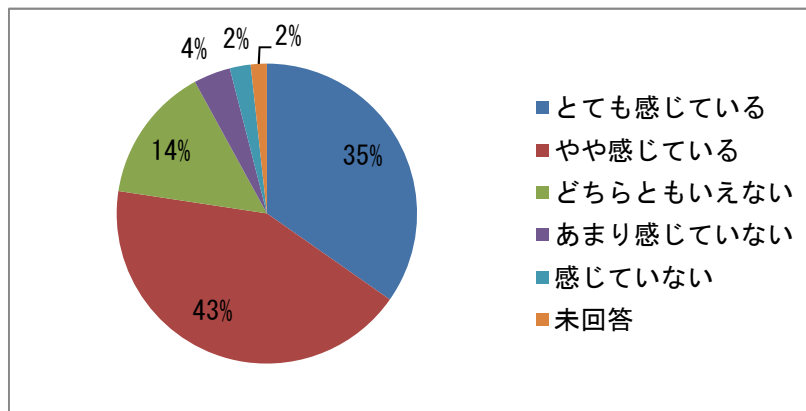


図 回答者の地域への愛着

年代	とても感じている		やや感じている		どちらともいえない		あまり感じていない		感じていない		合計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
10代	6	43%	7	50%	1	7%	0	0%	0	0%	14
20代	7	41%	6	35%	2	12%	1	6%	1	6%	17
30代	5	19%	12	44%	7	26%	1	4%	2	7%	27
40代	21	31%	31	46%	13	19%	1	2%	1	2%	67
50代	26	28%	44	46%	20	21%	3	3%	2	2%	95
60代	41	34%	55	46%	15	12%	6	5%	4	3%	121
70代	45	38%	55	46%	13	11%	5	4%	1	1%	119
80代	52	40%	53	40%	16	12%	8	6%	2	2%	131
90代以上	15	58%	5	19%	5	19%	0	0%	1	4%	26

③【居住希望】

居住希望についてみると、ずっと住みたい・当分の間は住みたいが約 7 割であった。

地域への居住希望についてみると、ずっと住みたい・当分の間は住みたいが 456 人で約 73%、転居したい・できるなら転居したいが 38 人で約 6%であった。また、年代別に見ると、20 代、50 代、60 代については、転居したい、できるなら転居したいと回答する率が高く、特に 20 代は 20%を超えている。

項目	ずっと住みたい	当分の間は住みたい	どちらともいえない	できるなら転居したい	転居したい	未回答
人数	293人	163人	122人	29人	9人	12人
%	47%	26%	19%	5%	1%	2%

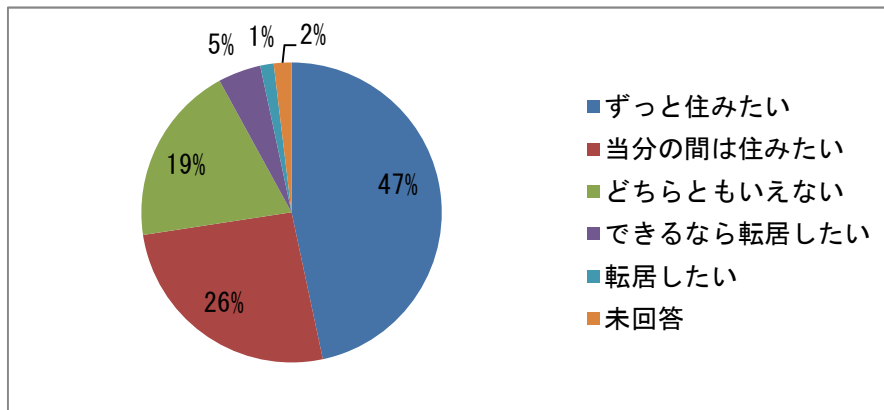


図 回答者の地域への居住希望

年代	ずっと住みたい		当分の間は住みたい		どちらともいえない		できるなら転居したい		転居したい		合計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
10代	2	14%	1	7%	10	72%	0	0%	1	7%	14
20代	2	12%	6	35%	5	29%	2	12%	2	12%	17
30代	5	19%	9	33%	12	44%	0	0%	1	4%	27
40代	24	37%	20	30%	18	27%	2	3%	2	3%	66
50代	38	40%	25	26%	24	25%	7	8%	1	1%	95
60代	54	44%	37	30%	22	18%	8	6%	2	2%	123
70代	66	56%	29	25%	18	15%	4	4%	0	0%	117
80代	84	64%	31	24%	10	8%	6	4%	0	0%	131
90代以上	18	69%	5	19%	3	12%	0	0%	0	0%	26

次ページにて住み続けたいか否かの理由について、まとめたものを掲載する。

【居住希望理由】

○ずっと住みたい

中津江への愛着や、環境の良さが理由にあがっている。一方で、老後を不安視する声もあがっている。

- ・中津江が好きだから。
- ・長年、生まれ育った地域なので、今後もこの場所を離れたくない。
- ・環境が良く、自然が豊かで、水がおいしい。
- ・うるさくもなく、のんびりと生活できる。
- ・家と仕事があるから。
- ・仕事はないが、お金がかからない。
- ・買い物は小国でできるし、熊本も近く便利。
- ・特に不自由を感じることがない。
- ・地域の人がみんな良く協力し合っているから住み良い。
- ・求めてたどり着いた場所だから。
- ・新しい土地に転居するのは不安。
- ・ずっと住みたいが、年を重ねるごとに不安を感じている。

○当分の間は住みたい

中津江に住み続けたいが、老後の住みやすさに不安があり、転居する可能性もあるという理由があがっている。

- ・いつかは独り立ちしたい。
- ・仕事と生活が両立する限り住み続けていたい。
- ・冬の寒さが厳しいので、年を取った時には住む自信はない。
- ・冬の道が心配。
- ・基本的には住み続けたいが、年を取り人の手を取るようになった場合、転居するかもしれない。
- ・将来自分が高齢者になったとき、住みやすいと思えなければ、わからないから。
- ・車の運転ができなくなったら、買物等の不便さや病院がないので転居するかもしれない。
- ・自分で運転できて動ける間は良いが、近所も店も病院も無くなれば、いずれか子供の近くに行かないと生活できない。
- ・自分で連絡できる範囲内にいない（緊急時、隣家までが歩いて遠いので声を掛ける人がいない）から。
- ・今は、夫婦暮らしだけれど、一人になればわからない。
- ・子供が市外だから、どうなるかわからない。
- ・生活収入面での不安がある。

○どちらともいえない

就職や、生活の不便さ、人口減少による将来への不安が理由にあがっている。また、降雨による避難頻度の高さが負担になっているという声もあがっている。

- ・やりたい職業が無い。
- ・進学を考えているため。
- ・子供が高校生になったときどうするか迷っているため。
- ・静かで住みやすいが、買物する場所が少なく、不便なところがあるから。
- ・お金収入があれば住みたい。
- ・今後、人口減少が加速すること感じられるから。
- ・冬の凍結、古家のメンテ、老後の買い物、通院等、老後の生活に不安がある。
- ・交通の便が悪い。
- ・大雨の時に、避難を度々しなければならないのがとても苦である。

○できるなら転居したい

交通の便が悪く、自分で運転できなくなった後の生活が困難であるという理由があがっている。

- ・近くにコンビニ・スーパー・大きな病院がないため。
- ・交通の便が悪く、通勤・通学に不便。
- ・海に見える所に住みたい。
- ・自動車の運転免許の返納等で自動車が使えなくなったら中津江での生活は難しい。
- ・運転が出来なくなった時、自分で動けず、子どもたちにも迷惑をかけたくないので、便利な所へ転居も考える。
- ・意地悪をする人がいるから。
- ・子どものところへ行きたい。

○転居したい

生活の不便さや、地域の活気のなさが理由に上がっている。

- ・活気がなく、村に魅力を感じない。
- ・若者が少ない。遊ぶ所もない。仕事も少なく、給料も安く、将来が不安になるので、長く住みたいとは思わない。
- ・何事にも不便で、田舎が嫌い。

(3) 不安・困っていること、手伝えること

不安・困っていることについてみると、健康、車の運転が3割以上であった。

不安・困っていることについてみると、健康が 229 人で約 36%、次いで車の運転が 193 人で約 31%、介護が 166 人で約 26%、一人暮らしが 139 人で約 22%であった。

	項目	回答者	割合	手伝える方	内容
1	健康に関すること(自身)	175	36%	16	運動指導、話相手
	健康に関すること(家族)	54			
2	介護に関すること(自身)	93	26%	11	近隣者の介護援助
	介護に関すること(家族)	73			
3	子育てに関すること(自身)	7	4%	10	
	子育てに関すること(家族)	16			
4	結婚に関すること(自身)	9	5%	1	
	結婚に関すること(家族)	21			
5	進学や就職に関すること(自身)	10	6%	4	大学情報の提供
	進学や就職に関すること(家族)	27			
6	経済的なこと	89	14%	1	
7	仕事に関すること	85	14%	9	
8	食事、洗濯、掃除など日常生活のこと	48	8%	17	
9	ゴミ出しのこと	41	7%	25	
10	庭作業や家の簡単な修繕などの軽作業のこと	58	9%	21	絆くらぶのチョイてご
11	農地・山林の維持管理のこと	100	16%	10	
12	近所の空き家のこと	57	9%	3	
13	日常的な相談をする相手がいないこと	32	5%	12	
14	看病や世話をしてくれる人がいないこと	51	8%	5	
15	緊急時相談先になってくれる人がいないこと	26	4%	8	
16	買い物・通院などの移動に関すること	106	17%	24	
17	車の運転ができなくなった時のこと	193	31%	7	
18	一人暮らしになった時のこと	139	22%	5	
19	班の付き合いや活動に関すること	58	9%	13	女性の会の活動
20	葬儀に関すること	62	10%	10	
21	災害時への備えや避難に関すること	125	20%	11	近隣者の避難

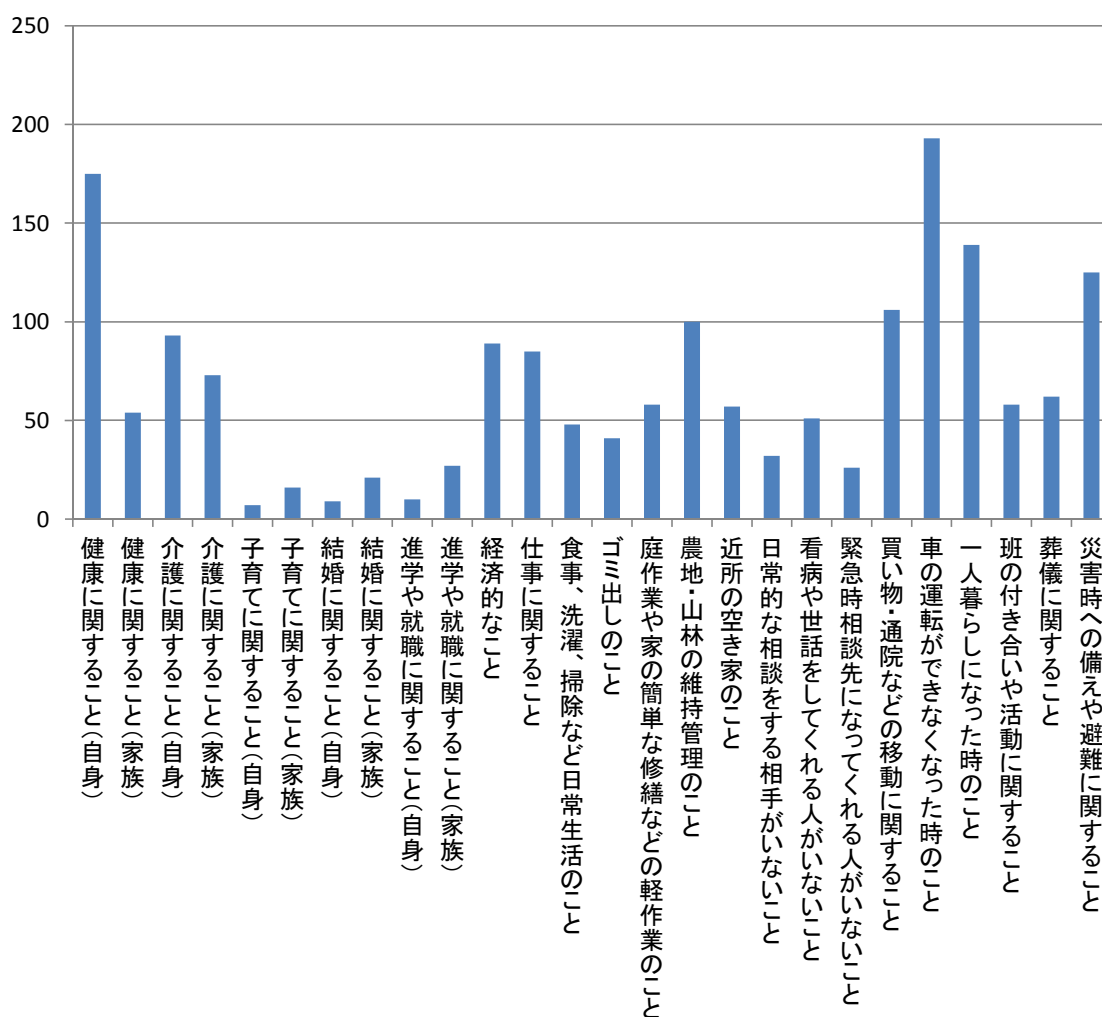


図 回答者の生活する上での不安・困っていること

項目		不安・困っている内容
1	健康に関すること(自身)	・病院が遠い・足腰が弱くなった・障害がある ・高齢になり今までできていたことができなかった ・目が悪い・耳が悪い・将来の健康 ・腰を非常に痛めているので、日常生活においてちょっとした作業がしづらくなっている ・腰痛で長時間の農作業ができない
	健康に関すること(家族)	・家族の病気・入退院している ・子供が腎臓病で通院が一人で出来ない
2	介護に関すること(自身)	・寝たきりになった時同居者がいない ・足が悪い・目が悪い・施設への入所が困難
	介護に関すること(家族)	・家族の介護・家に一人残せない ・子供の食事、通院、服薬介助している
3	子育てに関すること(自身)	・子供が出産し一人で育てる
	子育てに関すること(家族)	・公園が少ない・高校進学・子どもが少ない ・学校が少ない
4	結婚に関すること(自身)	・地元での仕事の選択肢が少ない
	結婚に関すること(家族)	・子どもの結婚・結婚に関心がない
5	進学や就職に関すること(自身)	・高齢者の働く場があるか・給料が低い
	進学や就職に関すること(家族)	・通学方法や交通費等・出費が増す ・市内の高校に進学すると家からの通学ができないため、下宿代等の費用負担が大きい
6	経済的なこと	・学生服等が高い・貯金がない ・高校の通学に費用がかかる ・今後の大きな出費について・年金だけでは生活が苦しい ・年金未加入期間で年金を受け取れない ・いつまで仕事があるかわからない ・一人になったら助けてくれる人がいない
7	仕事に関すること	・人手不足・鳥獣被害が出る・仕事がない・収入が少ない ・人口減少で仕事ができなくなるのではないかと ・田畑を荒らさず守っていくのが大変 ・移住者へのサポート体制が分かりづらい ・地域内でできる仕事がない・仕事ができない
8	食事、洗濯、掃除など日常生活のこと	・拭き掃除等・店が近くにない・水汲み ・物忘れが多くなってきたこと・一人暮らしの食事面 ・遠距離通勤で家事に支障が出る ・老後サービス・自分不在の時家族が対応できるか
9	ゴミ出しのこと	・ゴミ捨て場が遠い・指定袋の支払い ・ルールを守らない人がいる
10	庭作業や家の簡単な修繕などの軽作業のこと	・雨漏り・周囲環境清掃や草刈り作業 ・重いものを持ちたりすること・男手がない ・足場が悪く修繕できない・雨どいの掃除 ・老後体調不良で作業ができない
11	農地・山林の維持管理のこと	・人手不足・境がわからない・固定資産税が払えない ・後継者がいない・維持管理が困難
12	近所の空き家のこと	・荒れていて困る・倒壊の恐れがある ・管理したいが許可を得ていないので手を出せない
13	日常的な相談をする相手がないこと	・話す人がいないので寂しい・隣家が遠い ・民生委員や行政相談員に会っていない ・同じ集落に同世代の人がいない
14	看病や世話をしてくれる人がいないこと	・保健師による健康相談がない ・一人暮らしで隣家が遠い
15	緊急時相談先になってくれる人がいないこと	・何かあった時心配 ・設定ミスで緊急通報機が殆ど機能しないことがあったが、同様のミスがあると不安
16	買い物・通院などの移動に関すること	・運転できない・徒歩範囲に店がない・足が悪い ・市道までの100mが出きれない・バスの便数が少ない ・村内では必要なものがそろわない

17	車の運転ができなくなった時のこと	・交通機関の回数と不便さ・買物・通院 ・バスの定期便がない・移動手段が少ない ・将来デマンドバスがあるか
18	一人暮らしになった時のこと	・仕事の有無・寂しい・高齢化・子どもとの関係 ・家の手入れができそうにない ・数年後・食事や炊事・自分に万が一のことがあった時 ・畑を荒らしていく人への対応
19	班の付き合いや活動に関すること	・自分では判断できないことがある ・毎週活動があり大変・仕組みがわからない ・班の在り方を考えるべき・自分で思うように動けない ・昔のようににはできない・お年寄りばかり ・高齢化でお世話できる人が少なくなった ・集落戸数の減少・仕事との両立・酒が飲めない
20	葬儀に関すること	・昔のようにには動けない・介護ベッドがない ・場所と費用・仕組みがわからない・葬儀場の選定 ・市内へ葬儀に行くのが負担・高齢化 ・津江ですと集落の人が大変そうで日田ですべきか迷う ・夜中に集まって通夜、葬儀まで3日くらい仕事をやすまなければならない ・儀式に加わることをしないことが非社会的だと思う方がいることに少し戸惑いを感じる
21	災害時への備えや避難に関すること	・避難所までの移動が怖い・避難所の設備 ・避難の仕方がわからない・避難場所が遠い ・災害時家族を置いて職場に行かなければならない ・土砂災害、道路崩壊時の安全対策 ・自宅の方が安全・大雨時、橋を渡れない ・大雨時、水の流れ道になっているので不安がある ・ペットが多く一緒に避難できない ・介護ベッドがないと避難ができない
	その他	・道路愛護など重要だとは思うけど、自分が出るのにも限界がある・金融機関の窓口が郵便局しかないこと ・お年寄りがいると大きな災害時に避難判断がなかなか出来ない・農協の窓口がなくて不便・若者がいないことが不安 ・日田バスを午前中2回、午後2回日田までと中津江まで ・家に車があるだけで、色々近所の人に判断される ・この先20年後この家は人が住んでいるだろうか？ ・行政の気持ちのない対応、せめて笑顔で挨拶をしてほしい ・夜間、早朝時に必要になった車の対応 ・市内に大型の店舗があるとよい・年をとる度不安がある ・隣の杉林が、風が強くと庭や公共の道路に枯れた杉枝がたくさん落ちてきて掃くのが大変なので、枝打ちをしてほしい ・電波が悪い・冬の寒さが一番困る ・移住者と地域の人との交流会の場が少ない気がする ・日田市に通院の時デマンドバスが朝一番の日田バスに乗れないこと、またデマンドバスが夕方5時を過ぎた便がないこと ・手塩にかけた作物や山から運んだ薪などの被害がある ・今は夫婦で暮らしているが、片方が入院などで離れ離れで暮らすことが不安・移動手段がバスしかない ・近所の話し相手が少ない

(4) 暮らしにおける重要度と満足度

重要度率は、「重要」と「やや重要」を足した率から「あまり重要でない」と「重要でない」を足した率を引いた値

満足度率は、「満足」と「やや満足」を足した率から「やや不満」と「不満」を足した率を引いた値

満足度率と重要度率の差は、満足度率から重要度率を引いた値

※マイナスになるほど、重要なのに満足できていない。

単位: %		重要度(単位: %)					重要度率Ⅱ (① + ②) - (④ + ⑤)	満足度(単位: %)					満足度率Ⅱ (① + ②) - (④ + ⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
1	班内の付き合い	48	21	27	3	2	63	28	28	38	2	4	51	-12
	10代	20	20	60	0	0	40	13	0	87	0	0	13	-27
	20代	24	24	24	0	29	18	18	24	47	0	12	29	12
	30代	30	15	37	7	11	26	15	22	56	4	4	30	4
	40代	33	34	31	1	0	66	25	34	39	1	0	58	-7
	50代	44	27	26	2	1	68	22	31	38	4	5	44	-24
	60代	49	29	15	5	2	72	30	35	29	2	4	59	-12
	70代	56	13	28	2	1	67	32	29	38	1	1	59	-8
	80代	61	10	26	1	1	69	35	24	34	2	5	51	-18
	90代以上	39	7	46	4	4	39	21	18	57	0	4	36	-4
2	道路愛護	35	20	38	4	3	48	12	21	52	9	6	18	-31
	10代	20	20	60	0	0	40	20	13	67	0	0	33	-7
	20代	18	24	35	6	18	18	12	18	65	0	6	24	6
	30代	26	19	52	0	4	41	7	15	63	4	11	7	-33
	40代	31	27	39	3	0	55	10	27	49	12	1	24	-31
	50代	22	30	39	6	3	43	9	18	50	15	8	4	-39
	60代	45	23	23	7	3	58	15	28	37	12	9	21	-37
	70代	47	12	36	4	2	53	16	24	50	8	3	30	-23
	80代	36	16	44	1	4	47	10	14	60	7	9	9	-38
	90代以上	29	7	54	4	7	25	11	11	75	0	4	18	-7
3	地域内の美化	23	27	46	2	2	46	8	17	68	4	3	19	-26
	10代	20	33	47	0	0	53	13	13	73	0	0	27	-27
	20代	24	29	35	6	6	41	12	29	53	0	6	35	-6
	30代	15	22	56	4	4	30	0	7	89	0	4	4	-26
	40代	19	36	42	1	1	52	6	25	67	1	0	30	-22
	50代	13	32	50	4	1	40	4	14	75	6	1	10	-29
	60代	28	33	33	3	2	56	7	22	62	5	5	19	-37
	70代	31	21	48	0	1	51	12	19	62	4	3	23	-28
	80代	25	20	51	1	2	41	10	12	72	4	1	16	-25
	90代以上	14	14	61	4	7	18	11	14	71	0	4	21	4

単位：％		重要度(単位：％)					重要度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度(単位：％)					満足度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
4	消火対応	65	11	24	0	0	75	13	19	56	9	3	20	-56
	10代	60	20	20	0	0	80	13	20	67	0	0	33	-47
	20代	29	41	29	0	0	71	12	41	35	0	12	41	-29
	30代	44	19	37	0	0	63	7	11	78	4	0	15	-48
	40代	63	15	22	0	0	78	3	24	66	4	3	19	-58
	50代	74	8	18	0	0	82	13	20	52	14	2	17	-66
	60代	73	13	13	1	0	85	15	20	50	11	4	20	-65
	70代	63	9	28	0	0	72	15	17	54	10	4	18	-54
	80代	67	4	28	0	1	71	16	16	55	10	4	18	-53
	90代以上	50	7	39	4	0	54	11	18	68	4	0	25	-29
5	避難訓練など	51	21	26	2	0	69	11	21	55	8	5	19	-50
	10代	53	20	27	0	0	73	7	27	67	0	0	33	-40
	20代	41	24	35	0	0	65	18	24	53	0	6	35	-29
	30代	37	22	30	11	0	48	4	7	89	0	0	11	-37
	40代	54	19	24	3	0	70	4	27	54	12	3	16	-54
	50代	49	31	19	0	1	79	8	21	54	13	4	13	-67
	60代	54	24	19	2	1	75	16	22	50	7	5	26	-49
	70代	52	18	29	1	1	68	13	19	53	8	6	18	-49
	80代	53	16	29	1	0	68	10	20	54	7	8	16	-52
	90代以上	39	7	50	4	0	43	14	18	68	0	0	32	-11
6	避難や連絡体制など	57	16	25	0	0	73	11	21	57	7	4	21	-52
	10代	40	33	27	0	0	73	7	27	60	7	0	27	-47
	20代	41	35	24	0	0	76	24	12	53	6	6	24	-53
	30代	37	26	30	7	0	56	7	0	89	4	0	4	-52
	40代	58	15	27	0	0	73	9	25	54	7	4	22	-51
	50代	60	20	20	0	0	80	7	25	57	7	3	22	-58
	60代	64	16	18	0	2	79	17	20	46	11	7	20	-59
	70代	56	13	31	0	0	69	10	22	54	9	5	18	-52
	80代	60	13	25	1	0	73	13	19	61	4	4	24	-49
	90代以上	50	4	43	0	4	50	7	18	71	4	0	21	-29
7	防犯や交通安全活動	41	21	35	2	1	60	8	16	68	5	3	16	-43
	10代	47	27	27	0	0	73	7	40	47	7	0	40	-33
	20代	35	41	18	0	6	71	18	24	41	6	12	24	-47
	30代	26	26	44	0	4	48	4	0	93	4	0	0	-48
	40代	46	21	27	4	1	61	4	16	69	9	1	10	-51
	50代	40	28	30	2	0	66	6	13	73	6	2	10	-55
	60代	46	20	31	2	2	63	11	16	62	7	3	17	-46
	70代	38	23	38	0	0	62	9	18	67	3	3	20	-42
	80代	45	13	39	3	1	54	8	14	73	2	2	18	-36
	90代以上	32	7	61	0	0	39	7	14	75	0	4	18	-21
8	集会所などの維持管理	33	24	39	2	1	55	14	21	58	5	2	27	-27
	10代	20	20	60	0	0	40	0	27	73	0	0	27	-13
	20代	29	18	29	12	12	24	24	18	47	12	0	29	6
	30代	22	15	52	7	4	26	7	7	81	0	4	11	-15
	40代	30	24	42	4	0	49	9	22	58	9	1	21	-28
	50代	29	30	39	2	0	57	6	20	66	5	3	18	-40
	60代	39	29	29	1	2	66	18	26	45	8	3	33	-33
	70代	33	27	37	3	0	57	19	19	54	8	0	31	-26
	80代	40	18	42	0	0	58	16	22	57	1	3	34	-25
	90代以上	21	14	64	0	0	36	7	11	82	0	0	18	-18

単位：％		重要度(単位：％)					重要度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度(単位：％)					満足度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
9	地域のイベント	22	24	46	5	2	39	9	18	64	7	2	19	-21
	10代	27	33	40	0	0	60	20	27	53	0	0	47	-13
	20代	24	12	41	6	18	12	18	24	47	6	6	29	18
	30代	15	19	52	11	4	19	4	4	85	4	4	0	-19
	40代	21	36	34	7	1	48	3	16	64	15	1	3	-45
	50代	9	31	50	6	3	31	2	16	70	11	1	5	-26
	60代	28	32	33	4	3	52	14	20	57	7	3	24	-28
	70代	25	17	51	6	2	34	11	21	61	5	3	24	-10
	80代	28	17	53	1	1	43	12	21	62	4	1	28	-15
90代以上	14	14	68	4	0	25	0	11	86	4	0	7	-18	
10	高齢者対象の行事	23	23	49	4	1	41	9	16	69	5	1	19	-23
	10代	7	20	73	0	0	27	0	7	93	0	0	7	-20
	20代	24	29	41	0	6	47	24	12	59	6	0	29	-18
	30代	15	11	59	11	4	11	0	4	89	4	4	-4	-15
	40代	22	27	42	7	1	40	4	10	82	3	0	12	-28
	50代	14	29	56	0	1	42	1	19	75	5	0	15	-27
	60代	20	30	41	7	2	41	7	20	67	6	2	19	-23
	70代	23	15	59	2	1	36	8	13	68	8	3	9	-27
	80代	37	18	42	3	0	52	21	19	55	4	1	36	-16
90代以上	21	25	54	0	0	46	4	21	75	0	0	25	-21	
11	文化、芸能の継承	28	26	41	4	1	49	11	16	65	7	2	18	-31
	10代	13	33	53	0	0	47	13	27	60	0	0	40	-7
	20代	35	18	35	0	12	41	24	24	41	0	12	35	-6
	30代	26	22	41	7	4	37	0	15	81	0	4	11	-26
	40代	34	30	31	4	0	60	3	16	66	13	1	4	-55
	50代	18	40	39	4	0	53	3	14	74	9	0	7	-46
	60代	36	24	33	5	2	54	14	15	58	10	3	16	-37
	70代	28	21	48	4	0	44	15	15	63	6	1	23	-21
	80代	28	23	46	4	0	47	16	14	66	3	1	26	-21
90代以上	25	14	61	0	0	39	4	18	79	0	0	21	-18	
12	生涯学習関連の活動	16	22	54	5	4	29	6	11	78	3	2	11	-18
	10代	13	33	53	0	0	47	0	20	73	7	0	13	-33
	20代	24	24	41	0	12	35	24	12	47	6	12	18	-18
	30代	11	22	52	7	7	19	0	11	85	0	4	7	-11
	40代	31	21	43	3	1	48	6	6	81	3	4	4	-43
	50代	6	30	55	6	2	28	1	8	88	3	0	6	-22
	60代	15	27	46	8	4	30	7	16	70	5	2	15	-15
	70代	18	21	51	7	4	28	9	12	74	4	1	16	-12
	80代	15	11	67	3	4	19	5	6	85	1	2	7	-12
90代以上	14	18	68	0	0	32	4	14	82	0	0	18	-14	
13	健康づくり活動	18	23	53	4	2	36	4	12	77	4	2	11	-25
	10代	7	20	73	0	0	27	7	7	87	0	0	13	-13
	20代	24	6	59	0	12	18	18	0	65	6	12	0	-18
	30代	11	19	59	4	7	19	0	7	85	4	4	0	-19
	40代	24	28	36	9	3	40	6	9	76	6	3	6	-34
	50代	10	30	53	4	2	34	2	8	83	6	0	4	-30
	60代	17	31	46	4	2	41	6	20	67	4	2	20	-22
	70代	21	23	52	3	2	40	1	18	74	6	2	11	-29
	80代	25	10	62	2	1	32	7	7	84	1	1	12	-20
90代以上	11	21	68	0	0	32	0	14	82	4	0	11	-21	

単位：％		重要度(単位：％)					重要度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度(単位：％)					満足度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
14	寄り合いや生きがいサロンなどの活動	16	20	55	5	4	27	4	10	80	4	2	9	-18
	10代	7	13	80	0	0	20	7	7	80	7	0	7	-13
	20代	12	6	65	0	18	0	12	0	82	6	0	6	6
	30代	19	22	48	4	7	30	0	11	85	0	4	7	-22
	40代	21	33	36	4	6	43	4	10	82	1	1	12	-31
	50代	13	17	65	6	0	23	3	4	89	4	0	3	-20
	60代	15	31	42	9	3	33	3	19	70	6	2	14	-20
	70代	15	17	58	6	4	22	6	7	82	3	3	7	-15
	80代	20	10	62	4	4	23	2	10	82	4	1	6	-17
	90代以上	18	18	64	0	0	36	7	18	75	0	0	25	-11
15	生活支援活動	25	26	43	4	2	45	5	11	73	9	3	4	-41
	10代	7	33	60	0	0	40	7	13	73	7	0	13	-27
	20代	24	18	53	0	6	35	12	6	59	24	0	-6	-41
	30代	26	19	44	4	7	33	4	7	81	0	7	4	-30
	40代	39	24	31	4	1	57	4	7	73	12	3	-3	-60
	50代	23	36	38	3	0	56	3	6	72	17	2	-9	-66
	60代	27	32	35	5	2	52	4	11	76	7	2	6	-46
	70代	22	24	48	4	2	40	4	16	73	6	2	13	-28
	80代	25	19	48	7	1	34	7	9	72	7	5	4	-30
	90代以上	29	14	57	0	0	43	4	21	71	4	0	21	-21
16	移動	50	17	30	2	1	65	11	18	53	12	7	10	-55
	10代	27	33	40	0	0	60	0	7	73	20	0	-13	-73
	20代	47	18	29	0	6	59	12	12	41	12	24	-12	-71
	30代	33	19	44	4	0	48	0	11	70	7	11	-7	-56
	40代	57	12	30	1	0	67	4	13	61	16	4	-3	-70
	50代	52	17	30	1	0	68	5	20	52	15	8	2	-66
	60代	53	21	23	2	2	71	11	20	50	12	8	10	-61
	70代	43	19	35	2	1	60	14	18	52	9	7	17	-43
	80代	57	13	28	2	0	68	19	18	49	10	4	22	-46
	90代以上	43	14	43	0	0	57	14	25	54	4	4	32	-25
17	子ども対象の行事	21	17	58	2	2	34	3	9	83	4	1	7	-27
	10代	27	20	53	0	0	47	7	13	80	0	0	20	-27
	20代	35	18	41	0	6	47	18	6	65	6	6	12	-35
	30代	22	7	59	7	4	19	0	4	89	4	4	-4	-22
	40代	36	22	39	3	0	55	4	16	70	9	0	12	-43
	50代	19	22	56	3	0	38	1	9	80	8	1	1	-36
	60代	24	20	51	2	3	39	3	9	85	2	1	10	-29
	70代	19	14	63	0	3	30	3	10	83	3	1	9	-21
	80代	14	13	70	1	2	24	2	4	92	1	0	5	-19
	90代以上	14	11	68	7	0	18	0	11	86	0	4	7	-11
18	子どもの安全を支える活動	31	15	51	2	2	43	4	11	80	5	1	9	-34
	10代	20	40	40	0	0	60	7	20	67	7	0	20	-40
	20代	47	12	35	0	6	53	18	6	65	6	6	12	-41
	30代	30	15	44	7	4	33	0	4	93	0	4	0	-33
	40代	43	15	40	1	0	57	6	18	67	9	0	15	-42
	50代	34	17	47	2	0	49	3	11	75	10	0	4	-45
	60代	35	20	42	1	2	51	3	13	80	2	2	13	-38
	70代	27	13	59	0	1	39	6	8	80	5	1	8	-31
	80代	25	10	60	1	3	31	2	6	89	3	0	5	-25
	90代以上	14	11	68	7	0	18	0	18	79	0	4	14	-4

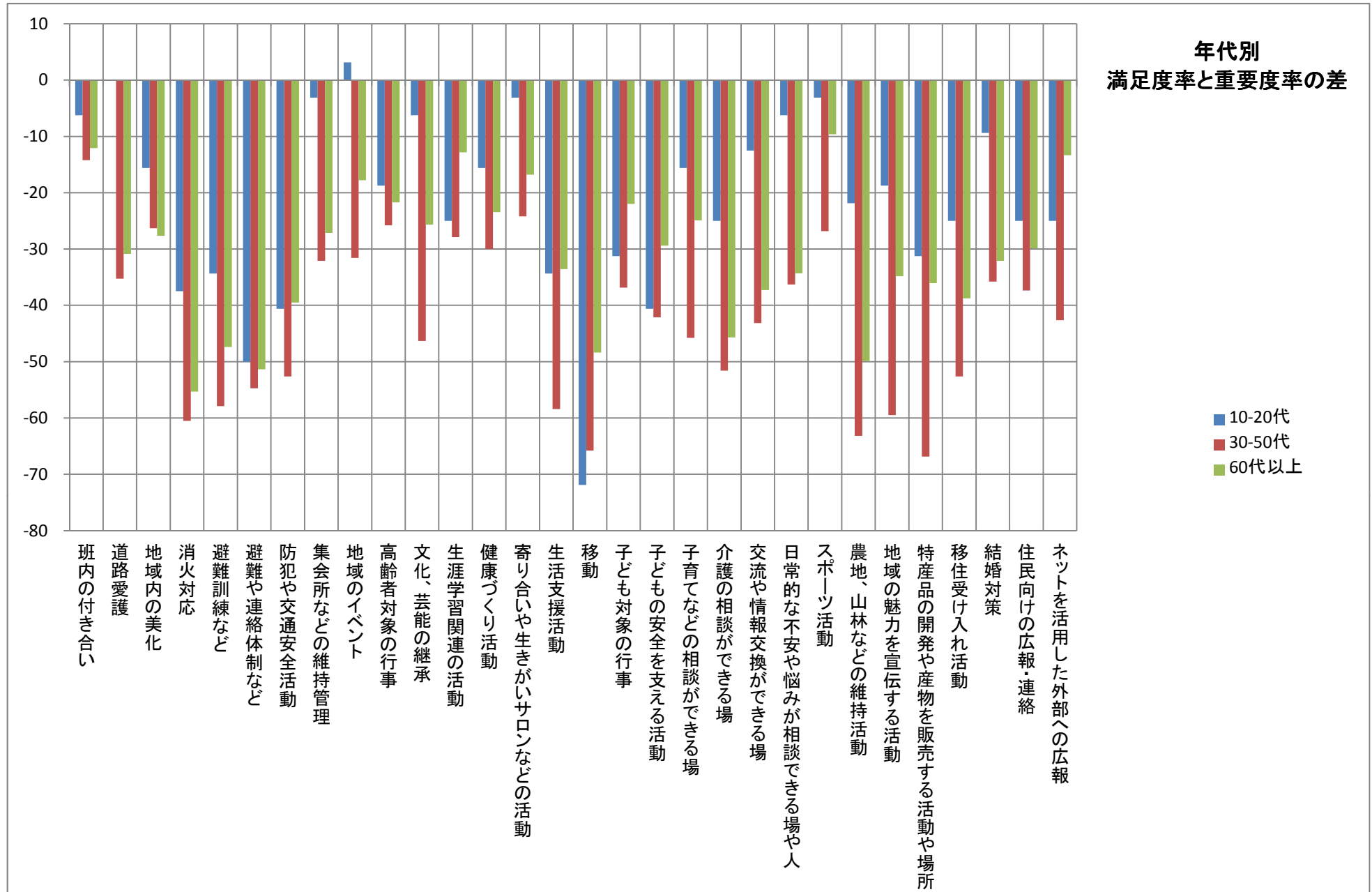
単位：％		重要度(単位：％)					重要度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度(単位：％)					満足度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
19	子育てなどの相談ができる場	24	14	58	2	2	34	2	6	86	4	1	3	-31
	10代	13	13	73	0	0	27	0	13	87	0	0	13	-13
	20代	29	18	47	0	6	41	18	6	76	0	0	24	-18
	30代	30	11	48	7	4	30	4	4	85	4	4	0	-30
	40代	40	22	34	1	1	60	4	7	79	9	0	3	-57
	50代	21	19	57	2	1	36	1	4	83	9	2	-6	-43
	60代	29	17	49	2	2	41	2	8	85	4	2	4	-37
	70代	17	12	68	3	2	24	3	6	88	3	2	4	-20
	80代	20	8	67	1	3	24	1	4	93	1	1	1	-22
	90代以上	14	7	75	4	0	18	0	14	86	0	0	14	-4
20	介護の相談ができる場	39	19	40	1	1	56	6	13	72	7	2	9	-46
	10代	13	13	73	0	0	27	0	7	93	0	0	7	-20
	20代	41	12	41	0	6	47	24	6	59	0	12	18	-29
	30代	26	19	48	4	4	37	0	11	78	7	4	0	-37
	40代	45	16	34	3	1	57	6	9	73	9	3	3	-54
	50代	36	24	40	0	0	60	3	16	69	9	3	6	-54
	60代	41	23	31	2	2	59	6	17	67	6	4	13	-46
	70代	38	21	40	1	0	58	8	8	76	8	1	8	-51
	80代	42	13	45	0	0	55	4	13	75	6	1	11	-44
	90代以上	32	21	46	0	0	54	11	21	61	7	0	25	-29
21	交流や情報交換ができる場	29	23	46	2	1	49	6	14	70	6	4	11	-38
	10代	7	33	60	0	0	40	0	13	87	0	0	13	-27
	20代	29	0	53	6	12	12	24	6	53	12	6	12	0
	30代	26	11	52	4	7	26	0	7	85	0	7	0	-26
	40代	36	24	36	3	1	55	9	10	73	6	1	12	-43
	50代	18	30	52	0	0	48	1	13	73	10	3	0	-48
	60代	31	29	35	2	2	55	4	21	67	5	3	17	-38
	70代	31	22	47	1	0	52	10	10	69	8	3	9	-43
	80代	33	19	48	0	0	52	7	16	66	5	5	13	-40
	90代以上	21	11	61	7	0	25	7	18	75	0	0	25	0
22	日常的な不安や悩みが相談できる場や人	26	22	49	2	2	44	7	13	72	6	3	11	-33
	10代	13	20	67	0	0	33	0	13	87	0	0	13	-20
	20代	29	6	47	6	12	18	18	12	65	0	6	24	6
	30代	26	11	56	0	7	30	0	7	85	0	7	0	-30
	40代	30	19	45	4	1	43	7	12	69	10	1	7	-36
	50代	14	28	57	1	0	41	1	11	77	9	1	2	-39
	60代	28	25	40	2	4	47	4	15	73	4	4	11	-37
	70代	24	23	51	1	1	46	6	11	72	8	4	5	-41
	80代	34	17	47	1	1	50	15	12	66	4	4	19	-31
	90代以上	21	25	50	4	0	43	4	25	71	0	0	29	-14
23	スポーツ活動	11	18	61	6	4	19	4	7	81	6	2	4	-14
	10代	0	40	60	0	0	40	7	33	60	0	0	40	0
	20代	24	12	41	12	12	12	18	6	59	12	6	6	-6
	30代	15	15	63	4	4	22	0	4	85	7	4	-7	-30
	40代	12	19	58	7	3	21	4	4	81	9	1	-1	-22
	50代	5	20	67	7	1	17	0	1	85	8	5	-13	-29
	60代	14	25	48	7	6	26	2	12	80	3	2	10	-16
	70代	10	16	65	4	5	17	5	10	79	5	1	9	-8
	80代	13	10	67	7	4	12	7	4	83	5	1	5	-7
	90代以上	11	7	79	4	0	14	0	11	89	0	0	11	-4

単位：％		重要度(単位：％)					重要度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度(単位：％)					満足度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
24	農地、山林などの維持活動	33	19	44	2	2	48	5	8	69	11	7	-5	-53
	10代	13	13	67	7	0	20	7	13	80	0	0	20	0
	20代	47	12	35	0	6	53	18	12	53	12	6	12	-41
	30代	19	26	44	4	7	33	0	4	89	4	4	-4	-37
	40代	31	24	40	4	0	51	1	9	76	12	1	-3	-54
	50代	32	26	40	1	1	56	0	4	71	16	9	-21	-77
	60代	44	22	29	2	3	61	5	8	59	18	11	-15	-76
	70代	29	20	47	2	3	45	7	10	72	8	3	5	-40
	80代	33	12	52	1	2	42	8	9	67	8	7	1	-40
	90代以上	18	7	68	4	4	18	7	0	82	4	7	-4	-21
25	地域の魅力を宣伝する活動	25	21	49	3	2	40	3	11	72	11	4	-1	-42
	10代	13	33	53	0	0	47	0	47	53	0	0	47	0
	20代	41	18	24	0	18	41	18	12	47	6	18	6	-35
	30代	22	19	52	4	4	33	0	7	85	0	7	0	-33
	40代	33	25	37	3	1	54	1	9	64	22	3	-15	-69
	50代	24	20	51	4	1	39	0	2	74	18	6	-22	-60
	60代	23	28	40	6	3	42	2	11	69	11	7	-5	-47
	70代	22	23	52	3	2	40	3	16	69	9	3	8	-33
	80代	25	13	59	1	1	37	4	9	80	6	1	7	-30
	90代以上	21	7	68	4	0	25	0	18	75	7	0	11	-14
26	特産品の開発や産物を販売する活動や場所	27	21	48	2	1	45	4	10	71	10	5	-1	-45
	10代	13	27	60	0	0	40	0	20	80	0	0	20	-20
	20代	35	24	29	6	6	47	18	12	47	6	18	6	-41
	30代	26	26	44	0	4	48	0	7	81	4	7	-4	-52
	40代	34	28	34	3	0	60	3	12	61	19	4	-9	-69
	50代	18	31	50	1	0	48	0	2	74	18	6	-22	-70
	60代	31	27	37	3	2	52	6	10	64	13	7	-5	-57
	70代	29	17	52	1	2	43	7	15	68	8	3	12	-32
	80代	27	10	60	1	1	34	3	12	78	4	2	8	-26
	90代以上	18	4	71	7	0	14	4	7	82	7	0	4	-11
27	移住受け入れ活動	22	20	52	3	3	36	2	7	76	9	7	-7	-42
	10代	7	20	73	0	0	27	0	13	87	0	0	13	-13
	20代	35	18	29	6	12	35	18	6	53	6	18	0	-35
	30代	26	19	52	0	4	41	0	11	78	4	7	0	-41
	40代	34	18	43	4	0	48	1	6	73	10	9	-12	-60
	50代	17	23	57	2	1	36	1	3	77	10	8	-15	-51
	60代	23	24	45	7	2	37	2	11	72	11	6	-4	-41
	70代	25	24	44	3	3	43	3	6	74	10	7	-8	-50
	80代	19	12	63	1	5	24	1	5	81	8	5	-7	-31
	90代以上	11	14	71	4	0	21	0	7	93	0	0	7	-14
28	結婚対策	14	17	62	3	3	25	1	4	82	8	4	-7	-32
	10代	0	20	80	0	0	20	0	20	80	0	0	20	0
	20代	24	18	41	6	12	24	18	12	47	18	6	6	-18
	30代	15	15	67	0	4	26	0	4	93	0	4	0	-26
	40代	19	15	57	6	3	25	1	4	87	4	3	-1	-27
	50代	11	23	61	3	1	30	1	1	81	9	7	-15	-45
	60代	18	23	50	6	4	31	2	6	76	9	7	-9	-40
	70代	13	17	64	3	3	24	1	3	79	14	3	-13	-37
	80代	12	13	72	1	3	21	0	2	90	4	4	-6	-27
	90代以上	14	0	82	4	0	11	0	7	93	0	0	7	-4

単位：％		重要度(単位：％)					重要度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度(単位：％)					満足度率Ⅱ (①＋②)－ (④＋⑤)	満足度率と重要度率の差
		重要 ①	やや重要 ②	どちらとも ③	あまり重要でない ④	重要でない ⑤		満足 ①	やや満足 ②	どちらとも ③	やや不満 ④	不満 ⑤		
29	住民向けの広報・連絡	33	21	42	2	1	51	9	19	62	5	4	19	-32
	10代	7	33	53	7	0	33	0	13	87	0	0	13	-20
	20代	41	6	47	0	6	41	18	12	53	0	18	12	-29
	30代	22	11	59	4	4	26	4	7	78	4	7	0	-26
	40代	37	18	40	3	1	51	7	18	67	6	1	18	-33
	50代	20	35	42	3	0	52	3	19	65	9	4	8	-44
	60代	39	26	29	4	2	59	7	23	61	6	3	21	-38
	70代	35	22	43	1	0	56	13	20	58	5	5	23	-33
	80代	41	12	46	1	1	51	15	19	58	4	4	27	-25
	90代以上	21	14	61	4	0	32	11	18	71	0	0	29	-4
30	ネットを活用した外部への広報	14	16	61	5	4	21	1	6	83	6	4	-2	-23
	10代	13	20	60	7	0	27	0	13	87	0	0	13	-13
	20代	29	12	41	6	12	24	18	0	53	18	12	-12	-35
	30代	11	26	56	0	7	30	0	7	81	4	7	-4	-33
	40代	25	22	46	4	1	42	1	6	78	6	9	-7	-49
	50代	15	21	59	4	1	30	0	3	83	7	6	-10	-41
	60代	15	20	52	7	7	22	2	11	78	6	2	6	-16
	70代	8	13	67	8	5	8	1	6	81	10	3	-6	-14
	80代	10	9	75	5	1	12	0	4	93	3	0	1	-10
	90代以上	14	4	79	4	0	14	0	4	96	0	0	4	-11

【Q4 年代別満足度率と重要度率の差順位】

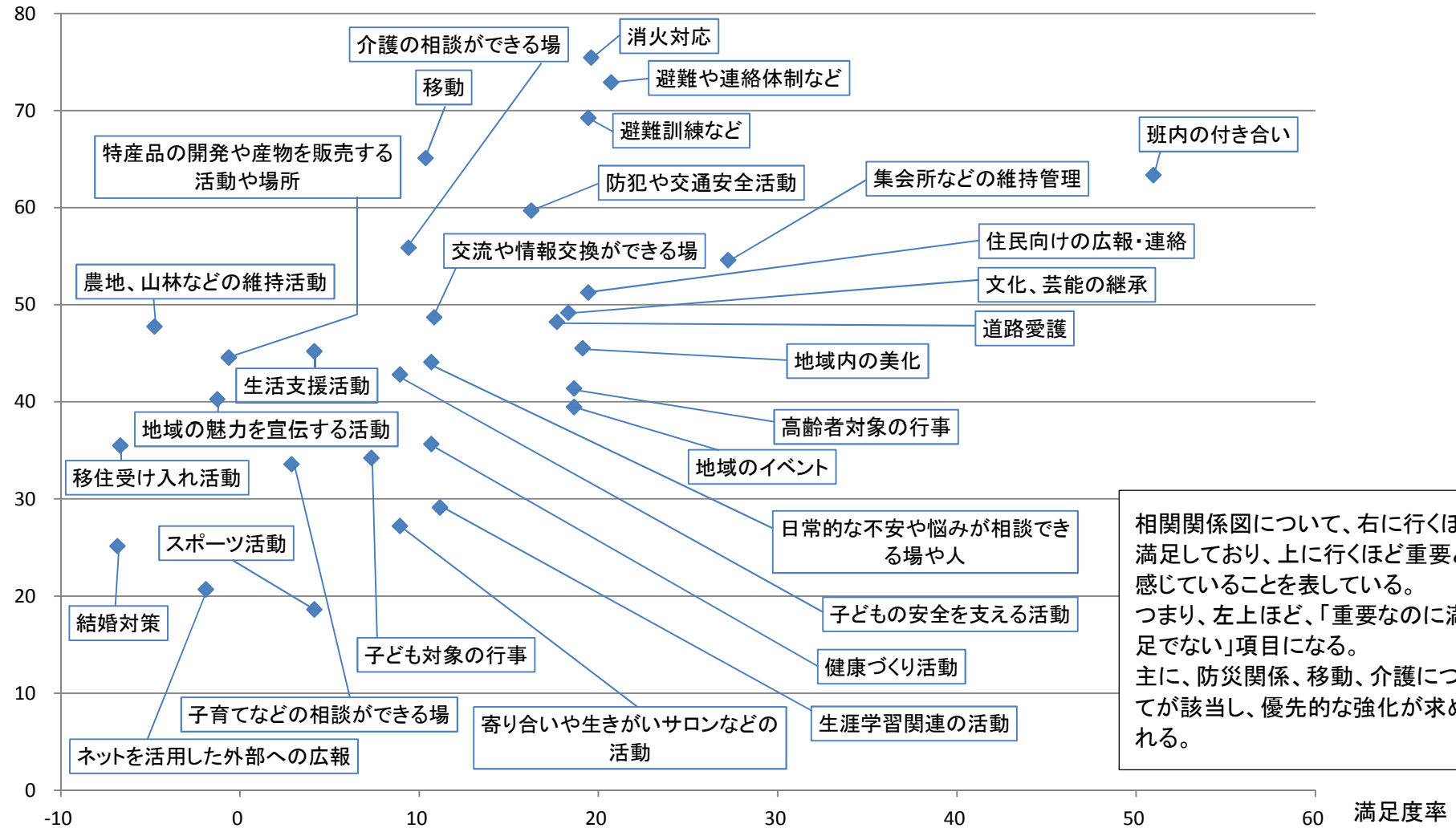
順位	総合		順位	10-20代		順位	30-50代		順位	60代以上	
1位	消火対応	-56	1位	移動	-72	1位	特産品の開発や産物を販売する活動や場所	-67	1位	消火対応	-55
2位	移動	-55	2位	避難や連絡体制など	-50	2位	移動	-66	2位	避難や連絡体制など	-51
3位	農地、山林などの維持活動	-53	3位	子どもの安全を支える活動	-41	3位	農地、山林などの維持活動	-63	3位	農地、山林などの維持活動	-50
4位	避難や連絡体制など	-52	3位	防犯や交通安全活動	-41	4位	消火対応	-61	4位	移動	-48
5位	避難訓練など	-50	5位	消火対応	-38	5位	地域の魅力を宣伝する活動	-59	5位	避難訓練など	-47
6位	介護の相談ができる場	-46	6位	生活支援活動	-34	6位	生活支援活動	-58	6位	介護の相談ができる場	-46
7位	特産品の開発や産物を販売する活動や場所	-45	6位	避難訓練など	-34	7位	避難訓練など	-58	7位	防犯や交通安全活動	-40
8位	防犯や交通安全活動	-43	8位	特産品の開発や産物を販売する活動や場所	-31	8位	避難や連絡体制など	-55	8位	移住受け入れ活動	-39
9位	移住受け入れ活動	-42	8位	子ども対象の行事	-31	9位	防犯や交通安全活動	-53	9位	交流や情報交換ができる場	-37
10位	地域の魅力を宣伝する活動	-42	10位	ネットを活用した外部への広報	-25	10位	移住受け入れ活動	-53	10位	特産品の開発や産物を販売する活動や場所	-36
11位	生活支援活動	-41	10位	移住受け入れ活動	-25	11位	介護の相談ができる場	-52	11位	地域の魅力を宣伝する活動	-35
12位	交流や情報交換ができる場	-38	10位	介護の相談ができる場	-25	12位	文化、芸能の継承	-46	12位	日常的な不安や悩みが相談できる場や人	-34
13位	子どもの安全を支える活動	-34	13位	住民向けの広報・連絡	-25	13位	子育てなどの相談ができる場	-46	13位	生活支援活動	-34
14位	日常的な不安や悩みが相談できる場や人	-33	13位	生涯学習関連の活動	-25	14位	交流や情報交換ができる場	-43	14位	結婚対策	-32
15位	結婚対策	-32	15位	農地、山林などの維持活動	-22	15位	ネットを活用した外部への広報	-43	15位	道路愛護	-31
16位	住民向けの広報・連絡	-32	16位	地域の魅力を宣伝する活動	-19	16位	子どもの安全を支える活動	-42	16位	住民向けの広報・連絡	-30
17位	文化、芸能の継承	-31	16位	高齢者対象の行事	-19	17位	住民向けの広報・連絡	-37	17位	子どもの安全を支える活動	-29
18位	子育てなどの相談ができる場	-31	18位	子育てなどの相談ができる場	-16	18位	子ども対象の行事	-37	18位	地域内の美化	-28
19位	道路愛護	-31	18位	健康づくり活動	-16	19位	日常的な不安や悩みが相談できる場や人	-36	19位	集会所などの維持管理	-27
20位	集会所などの維持管理	-27	18位	地域内の美化	-16	20位	結婚対策	-36	20位	文化、芸能の継承	-26
21位	子ども対象の行事	-27	21位	交流や情報交換ができる場	-13	21位	道路愛護	-35	21位	子育てなどの相談ができる場	-25
22位	地域内の美化	-26	22位	結婚対策	-9	22位	集会所などの維持管理	-32	22位	健康づくり活動	-23
23位	健康づくり活動	-25	23位	日常的な不安や悩みが相談できる場や人	-6	23位	地域のイベント	-32	23位	子ども対象の行事	-22
24位	高齢者対象の行事	-23	23位	文化、芸能の継承	-6	24位	健康づくり活動	-30	24位	高齢者対象の行事	-22
25位	ネットを活用した外部への広報	-23	25位	班内の付き合い	-6	25位	生涯学習関連の活動	-28	25位	地域のイベント	-18
26位	地域のイベント	-21	26位	スポーツ活動	-3	26位	スポーツ活動	-27	26位	寄り合いや生きがいサロンなどの活動	-17
27位	寄り合いや生きがいサロンなどの活動	-18	27位	寄り合いや生きがいサロンなどの活動	-3	27位	地域内の美化	-26	27位	ネットを活用した外部への広報	-13
28位	生涯学習関連の活動	-18	27位	集会所などの維持管理	-3	28位	高齢者対象の行事	-26	28位	生涯学習関連の活動	-13
29位	スポーツ活動	-14	29位	道路愛護	0	29位	寄り合いや生きがいサロンなどの活動	-24	29位	班内の付き合い	-12
30位	班内の付き合い	-12	30位	地域のイベント	3	30位	班内の付き合い	-14	30位	スポーツ活動	-10



重要度率と満足度率の相関関係

単位：%

重要度率



○満足度と重要度の差

年代別順位を見ると、10-20代は「移動」、30-50代は「特産品の開発や産物を販売する活動や場所」、60代以上は「消火対応」がそれぞれ最も満足度と重要度の差が大きかった。

満足度と重要度の差を年代別に見ると、総合評価と年代別評価に差があることがわかる。例えば、総合では結婚対策が-32、子育てなどの相談が-31と同様の状況にある2項目について年代別順位を見ると、結婚対策は、10-20代は-9の22位、30-50代は-36の20位、60代以上は-32の14位、子育てなどの相談は、10-20代は-16の18位、30-50代は-46の13位、60代以上は-25の21位となっている。高齢層は結婚対策について心配しているものの、若手にとってはそうではなく、むしろ子育てなどの相談ができる場が求められていることがわかる。

項目	総合		10-20代		30-50代		60代以上	
子育てなどの相談ができる場	-31	18位	-16	18位	-46	13位	-25	21位
結婚対策	-32	15位	-9	22位	-36	20位	-32	14位

(5) 単身の方が人と会って話す頻度

話す頻度についてみると、ほぼ毎日が6割であった。

単身の方が人と会って話す頻度についてみると、ほぼ毎日が55人で約60%、次いで三日に一回程度が17人で約18%、一週間に一回程度が6人で約7%、一か月に一回程度が6人で約7%、ほとんどないが1人で約1%であった。

項目	ほぼ毎日	三日に一回程度	一週間に一回程度	一か月に一回程度	ほとんどない	未回答
人数	55人	17人	6人	6人	1人	6人
%	60%	18%	7%	7%	1%	7%

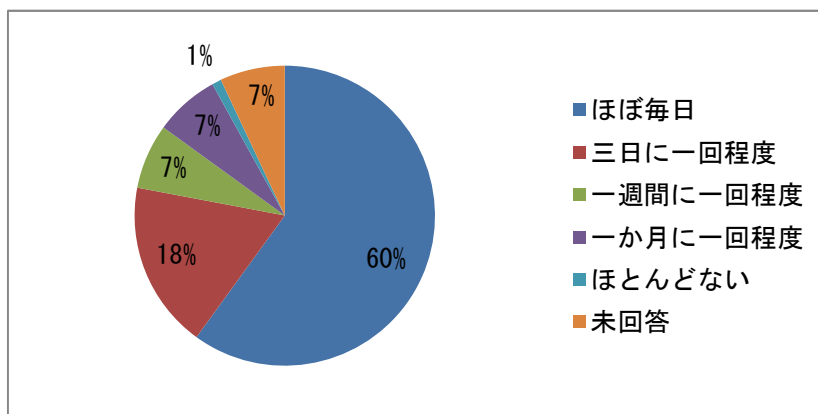


図 単身の方が人と会って話す頻度

(6) 10年後中津江地域で暮らすために必要なもの

10年後必要なものについてみると、病院と公共交通がそれぞれ約2割であった。

10年後中津江地域で暮らすために必要なものについてみると、地域内の病院が349人で約22%、次いでバス等の公共交通が329人で約21%、隣り近所の人とのつながりが274人で約18%であった。

項目	隣り近所の人とのつながり	地域内の病院	バス等の公共交通	災害への備え（防災対策）	地域のイベントや祭り
人数	274人	349人	329人	115人	24人
%	18%	22%	21%	7%	2%

仕事（働き場）	地域の産業	お店（商店）	趣味やスポーツなどの集まり	その他
190人	76人	168人	23人	16人
12%	5%	11%	1%	1%

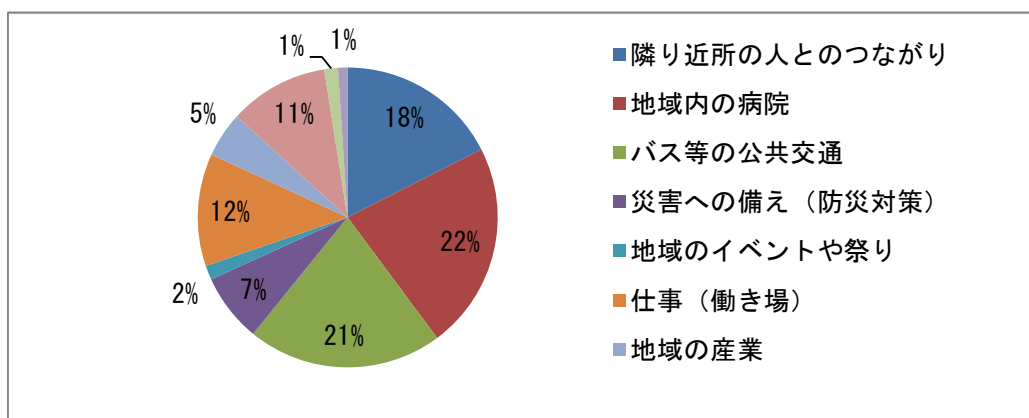


図 10年後中津江地域で暮らすために必要なもの

(7) どのような地域にしたいか

○自然・環境

- ・自然を大切にしていける地域
- ・自然が守られた地域
- ・自然が誇れる地域
- ・自然と人間の豊かな生活が共存できる地域
- ・水のきれいな地域
- ・水源が守られた地域
- ・色々な花で満ちる地域
- ・絶景ポイントのある地域
- ・獣とのすみわけができ、畑が荒らされない地域
- ・空き地や荒廃地がない地域
- ・山を守り、人を守る地域

○生活

- ・平和でゆっくりできる地域
- ・安心、安全に暮らせる地域
- ・住みやすい地域

- ・元気に過ごせる明るい地域
- ・楽しく面白い地域
- ・あたたかな地域
- ・活力のある賑わいがある地域
- ・誰もが不自由なく生活できる地域
- ・安定した人口で落ち着いた生活の出来る地域
- ・人口にあった地域活動の規模、整理が行われた地域
- ・住み慣れた場所で暮らしていける地域
- ・気軽に住む事のできる地域
- ・昔のような地域
- ・今が保たれた地域
- ・地域を愛する地域
- ・犯罪のない地域

○つながり

- ・隣近所が仲良く楽しい地域
- ・人と人とのつながりの強い地域
- ・言葉のキャッチボールが出来る地域
- ・思いやりの心をお互いに持ち助け合う、これまで以上に安心して暮らせる地域
- ・互いを励ましあい、健康に過ごせる地域
- ・仲良く助け合う地域
- ・皆が支え合う元気な自立した地域
- ・お金があまりなくても人間として生きていける心と心の繋がりのある地域
- ・地域住民で助け合い、少ない生活費でも暮らしていけるような地域

○子ども・若者

- ・子どもや若者の多い地域
- ・子どもが伸び伸びと育つことのできる地域
- ・子どもたちの声が響き渡る地域
- ・高校へ家から通学できる地域
- ・若者に魅力的な職場のある地域
- ・若者が住める地域
- ・若者が住みたくなる地域
- ・若者がとどまる地域
- ・子どもたちが戻って来たくなるような地域
- ・行事に子どもたちが参加する地域
- ・自分の子どもの頃のような生活を今の子ども達が経験できる地域

○高齢者

- ・高齢者が生き活きと暮らせる地域
- ・高齢者が安心して生活できる地域
- ・ずっと住めるような環境のある地域
- ・年寄りが楽しく地域の人々と顔がわかる付き合いが出来る地域

- ・老いても生きがいのある地域
- ・生涯現役で仕事ができる地域
- ・身内でなくても後継者のいる地域
- ・一人暮らしの方へ声かけのある地域
- ・一人暮らしの方が一緒に暮らせる地域
- ・老人になっても買い物・病院などに便利な地域
- ・歩ける範囲に施設がある地域
- ・高齢者施設の充実した地域
- ・元気に長く暮らせる地域
- ・健康寿命の長い地域
- ・終の棲家である地域
- ・家族に最期を看取られる地域

○地域外

- ・他地域からあそこに住みたいと思われる地域
- ・住んでることがうらやましく思われる地域
- ・国内の衰退する多くの地域郡部のひとつの目標指針となる地域
- ・移住者の多い地域
- ・良い人が転居してこられるような地域
- ・U・I ターン者が気兼ねなく住める地域
- ・都会の生活に疲れた人が移住し、人間らしい生活を取り戻せる地域
- ・地元の人と移住した人の交流が更に活発な地域
- ・若い夫婦が住める地域
- ・多くの人が訪れる魅力ある地域

○共有の場

- ・お互いに助け合えるしくみのある地域
- ・楽しく暮らしていく地域づくりに取り組む地域
- ・誰もが上津江村の未来について自分事として捉える機会が多い地域
- ・住民同士が情報共有や助け合いができる地域
- ・定期的に移住者が思う上津江の良い所を知れる会が開催される地域
- ・みんなが気軽に話し合える場のある地域
- ・地域資源を生み出す方法を地域で話し合う場のある地域
- ・人々が集うイベントの仕掛けづくりのある地域
- ・みんながパソコンが使える場所がある地域（人のつながりの場）

○具体案

- ・災害対応の体制が整った地域
- ・地域産業が活発化された地域
- ・最低限のインフラが保障される地域
- ・人の居場所や出番のある地域
- ・後世に残る人材を育成する地域
- ・安心・安全な野菜やお米が食べられる地域

- ・野菜の集荷のある地域
- ・鳥獣箱罟の貸し出しが充実した地域
- ・林業の盛んな地域
- ・丸蔵ふるさと見守り隊が充実された地域
- ・「ちょいてご」活動の活発な地域
- ・昔のように祭りが盛り上がる地域
- ・200年以上続く老松様という行事がいつまでも続く地域
- ・奥地に点在する家庭を、数か所に集めて大集落とした地域

○施設

- ・店や病院等が充実した地域
- ・商店が整備された地域
- ・移動販売車のある地域
- ・温泉施設のある地域
- ・カラオケやファミレス等の施設が充実した地域
- ・介護施設のある地域
- ・古民家カフェのある地域
- ・交流の場がある地域
- ・子育て世代の人との交流がある地域
- ・気のあった友達と一緒に過ごせる施設がある地域
- ・人の集まる野外の場がある地域
- ・今ある資源や施設を活用し、伝統を繋ぐ地域
- ・道の駅鯛生金山が活かされた地域
- ・金山での遊具類等体験が充実した地域
- ・温泉を活かした地域
- ・自然環境を活かした健康的な体験ができる地域
- ・土地や空き家を活用した農業体験ができる地域
- ・グリーンツーリズム、民泊のある地域

○交通

- ・家からの交通手段が確保された地域
- ・道路が整備され、移動が便利な地域
- ・道路が整備され、道の駅までが快適な地域
- ・公共交通の整備された地域（市内と小国町行）
- ・自家用車がなくても暮らせる地域

（８）意見・提案

詳細は別紙のとおり。

Q8.ご意見、ご提案

年代	性別	内容
10代	男	おまつりをふやす。 バスを定時で通してもらえるとありがたいです。
20代	男	阿蘇方面の高齢者施設に行く者が多いように感じる。南部地域包括支援センターの活躍を期待する。 子どもの活躍できる場が少なく感じます！以前よりも発表の場や人前に出ていく姿を見ない気がします。子供が減少しているからなのはわかりますが、子供のパワーをもう少しフル活用し、活気(高齢者)を取り戻して頂ければと感じます！
30代	男	移住者の受け入れに関して、空き家は多いが住みにくい所がほとんどのような気がするし、市営住宅も整備が行き届いていないので、その辺の対策も大事なのではないかと思います。 国道442号線におけるカーブミラーの増設してほしいです(木材運搬トラックとオートバイ客が多くて、出会い頭における衝突の危険が常にある)。図書館の充実など教育面での対策を更にしてほしいです。 人間はあくまでも自然界の一員であって、人間が自然を支配していると、その環境は永続するものとは成りえません。その様な『何を軸にして人間は営みをするのか?』という全世界的に再定義され、「循環」していく世に移っていければと。そんな意識が根本にあります。やれる事を少しずつでも、やっていければと思っています。
	女	高齢者が多くなると、交通機関を増やしたり利用しやすいようにすると良いと思う。今以上に住みやすい地域にしていくために、いろいろと話し合っって定住者を増やしていく工夫が必要だと思う。 田舎の人は優しいとよく言うけれど、決してそんなことはない。日々の生活にそれぞれストレスが溜まっているからか、人に冷たく思いやりに欠ける人が多い。田舎の優しいは所詮、うわべだけの事。みんな心から心配していない。むしろ人の不幸を噂話のネタにしてネットより早い情報網で拡散する。 今までのように、平和に仲良く暮らせたらいいと思う。 鯛生金山、スポーツセンターなどもっと盛り上げたい。
40代	男	人口が減っているので活動等の編成 温泉の件、残念でした。 津江⇄日田市街地への公共交通 ※高校生を持つ家庭でも家から通わせることが出来る。 行政頼りでなく自分たちで出来ることは自発的に行う様にならないと絶対よくならない！！ 現日本における地域性とは異なる、人としての気持ちを大切にできる村づくり。あそこに住みたいと思われる地域づくり。 インターネットを使った収入を村民が身につければよいと思う。SNS、ブログで野菜なども個人で売ればよい。インターネットを使って村内の人のつながり以外で子供や外の自分にあつた人とつながれる。地元だけではない人と人とのつながりがあると良いと思う ふるさとまつりの内容が悪い(誰のための祭りなのか?) 耕作放棄地対策 行政に頼りすぎず自分たちでする
	女	デマンドの料金を安くしてほしい。家の前まで行ける工夫をしてほしい。 たくさんイベントが結構あるので、新しいものがあれば追加してほしい。 中津江村は自由に意見を言ったり、活動したりできる地域性があると思う このアンケートは、参考の一部であってほしい。 自然を活用した事業と村内の既存の企業団体を組合せ、魅力をアピールし県外の集客に力を入れる。人の行き来を増やし活気を出し若者の働き口を作る。 耕作放棄地対策 中津江の「わさびづけ」を使用した「わさびいなり」を福岡の会社が作っていたとの情報あり(すごくおいしかったらしい)。中津江でのイベントで名産品として作ってみます？あと、カメルーンで(サッカー)有名になったあの役場ですが、今は使用していないのでしょうか？使えるのであれば週末限定の民泊みたいなもの(自炊してもらう)とか、ちょっと立ち寄りのできる資料館もどき(鯛生金山に行く途中の休み所みたいなもの)など、どうでしょう？毎日、前を通るたびにものすごくいいなと思っています。 個々人が考え気づき行動しない限り何の活動も意味のないものとなると私は考えている。

50代	男	日田市の人口減で災害関係の対応ができないのではないかと。消防団の各分団の合併を考えるべきではないか。各団体の役員が一人の人に重複しているので役員は大変である。
		道路愛護についてですが、高齢のため等で出れない家は、日当を負担して人を雇ってます。ボランティアだから出欠は自由といったものの田舎は近所の手前があつて出ないことはできず。これが現状です。
		地域では、人口が減少しており、高齢化しているので色々な役が回ってくるので少し負担になっている。
		現在の市政はネガティブなので、ポジティブに行きましょう。他地方行政に倣う程度では疲弊する。市財政には焼け石に水です。次元の違う方策でいきましょう。
		家族での移住促進
		誰でもできる特産品販売
		新しい自治会組織に期待します
		林業をしている上で感じる事で、他県では水質・水源資源の確保のための様々な取り組みがなされていて、日田市も森ビジョンとして取り上げているが、まだ遠い場所の事のように感じるし、又、山がメインの資源であるこの地域で、このままの10年後を考えるのはとても厳しいものだと感じる。地域の将来について村民と役場の人との話し合いが少なく寂しいし、両者だけでなく企業や仕事をしている人を巻き込んだ話し合いをするべきであると感じるし、ここまで高齢化しているのに役場の人はどこまで中津江村の将来を考えておられるのか方針を明確にしてほしい。
		子どもの声がないのが寂しい
		(Q7)1. 地域のイベントが多すぎると思う。高齢化により、実務に携わる人が減っている。一部の人の負担が重くなっている。2. 道路愛護はやめるべき、高齢者には身体的負担が大きく、特に国・県道道路内での作業は通行車両が多いため大変危険。
	女	お年寄りには淋しく暮らしてる人が多く、働き盛りの人は日々仕事に追われている為、年寄りに構う暇がない。その差を解消できることはないか？難しいものです。
		自分たちが楽しめること(村の居酒屋・喫茶店、移動で巡回)
		少人数の村だから仕方ない事だが、同じ人達がいくつも役をこなして、同じ人達だけの会議なので、話がマンネリ化していると思う。
		車が運転できなくなると、まず食料品や日用品の購入に困ります。現在、中津江の店で買うとすごく高い。お年寄りにはかわいそう！スーパー等が車で移動販売して頂くとありがたい。金山、BGのパンフレットや特産品のパンフレットはありますが、中津江全体のパンフレットはありますか？中津江村の生い立ち、昔話、こんな人いますよ。」とか、そんな冊子があるといいですね。友人、知人を案内したり、県外に出かけた時ちょっと紹介したり。中津江の名所めぐり(宮園神社、巢山弘法様、二又大イチョウ等)中津江の自然林を歩くツアー、中津江でワラビやぜんまい採りツアー、椎茸狩りしてその場でバーベキューなど考えてみてください。その時は、民泊などご参加したいです。案内係でもいいです。
		自動運転車両導入に向けた実証実験等を積極的に参画してもらいたい
		親の高齢に伴い以前の生活通りにはいかないことを感じます。どうしても自分の家族を優先に物事を取り決めるので地域の活動が事業参加など難しく感じるものがあります。この体制下では解決できないことばかりだと思っています。しかし行政面においては、相談窓口があり感謝しています。
		NPOつえ絆くらぶの活動を心より応援しています。ボランティアサポーターが増え、活動が活発になることを願っています。
		・若い夫婦の住みやすい地域にしてもらいたい。・老人ホームがあるといい。・いのしが畑の作物を食べられてしまう。
		高齢化のため、地域での協同活動がむずかしくなっているため、行事等の見直しをして欲しい。
		観光に力を入れて、鯛生金山の利活用を考えたい。森を活かした観光、スポーツ、お年寄りも癒されるような仕掛け作りが必要。
		地域のお世話をしている人も高齢化し、後をやってくれる人はいない。活動、事業など手を広げる事はやめて欲しい。これ以上、人の世話をするのは嫌。
		高齢化、過疎化は止められない。将来の不安はあるが、いい所を見つけて暮らす。今回のアンケート主旨がわからない。むずかしすぎる。
		高齢者が暮らしやすい事業を取り入れて欲しい
		今のところ、特別困っていることはないのだが、この先、どんな具合になっていくのか少々心配だ。自助努力だと思っているが、こればかりは、・・・
		地域の人が気楽に集まれるイベントを多く催して欲しい。

男	60代	鯛生金山、スポーツセンターを盛り上げてほしい。 村外や他県からの転入者について否定はしないが、村内の事や村民に対して非協力的な人はこまる。 些細なことであったとしても助け合うこと。情報を共有すること。 古からの祭事をビデオ等に残して、それを見て復活させることができるようにする。 祭り葬儀等に老人等が多くなり行事が出来なくなっている 市道のひび割れ、凸凹の維持管理ができていない。スーパー林道の前津江側は、法面雑木がきれいに伐採されている。中津江側もきれいにしてください。 今は運転できるが、将来の為にデマンバスは必ず残してください。除雪作業は、助かっています。 人口を増加する事業として ①シングルマザーのアイターン ②老人ホーム施設 ③子供の里親ホームステイ ④親を亡くした子供の養育施設 高齢化がはげしく、各活動等は毎年できにくくなりつつあるので、活動や事業について見直すべき。 道路愛護の方法が問題である。(業者に頼む集落があったり、上津江は2回実施など。)集会所までの距離が遠いのが問題である。自分で身の回りのことを一人でできなくなったら施設に入る予定。住民向けの広報(振興局便り等)において担当者によって掲載する重要情報が変わるので少し困る。 工場誘致か働く場所があると良い。 独りで生活ということは大変と毎日それだけをどうしたら良いかと考える。何にしても生活が何でも一番大事とちがいますか？道路沿いの木々をもっと切ってほしい。自宅前の国道442号線を走るバイクは、騒音だけでなく近所の水汲み場へ行くときに怖くて不安を感じる。放火の危険があるので、もっと空き家対策を充実してほしい。市報などが有ることを知らなかった。 市町村合併により村内人口は半減している。市町村合併がその原因である以上、国県は最後まで住民を守る義務がある。値域内の病院や救急車、バス等の公共交通、災害への備えはもちろん、住民サービスの質の低下は厳に慎むべきである。 インターネット環境をもっとよくしてほしい。(金額が高い、プロバイダーが選べない) 自宅近くの山の伐採をしたいが、木の倒れ方が不規則で怖くて出来ない。社協の様に、デマンバスの小型車があれば良いと思っている。
		車で日田まで出かけただけで「どこに行ったかい？」と近所の人に干渉されるのがいや！！帰りが遅いと「何で遅くなったかい？」いちいちうるさい！！プライベートな時間まで聞かないで、自由にしてほしいです。 このアンケートが何のためなのか？集計だけで終わらないように！！ 本当に今の80代、90代で1人暮らしの方が元気に過ごしていること自体びっくりします。気丈だなと。田舎も町もまずは両隣の人の大切さ。親族以上にありがたいことがたくさんありました。自分も人の役に立ちたいですが、今は目の前の課題であっふあっふです。 提案:救急車の小国町への乗り入れ(公立小国町病院)へ。現在は救急車が直接小国町公立病院への患者搬送(急患)が出来ていない。大分県と熊本県と言う事で乗り入れが出来ないのはおかしいと思う。小国町の救急車は15分で中津江に着きます。大山町より中津江、上津江に来ると20分位かかり、日田まで40分かかります。小国町までは20分で行けます。大分県、熊本県へ陳情を重ね、早急に解決すべき事と思う。 人が減っていくのが心配。 幅広い年齢層の年が参加できるイベントをしてもらいたい。 子供達の教育を特徴ある教育をして、子育ての場として中津江を選び若い家族が来てくれるといいですね。 ふるさとまつり、金山まつり、村で何かイベントしようと思っても人集めにエネルギーを使うイベントになっています。実行委員会も今までのように各団体の長ばかりでなく自主的に意見を持ったやる気のある人達が実行委員になるべき。PTAの親に参加してもらえば、おのずから子供がついてきます。子供が出れば祖父母が出てきます。とにかく今、中津江村では有言実行のリーダーが必要です。 放畜(養豚、養鶏、牛)の在り方～糞尿の処理の仕方はちゃんとしているのでしょうか、疑問があります。処理の施設はお金がかかると聞いたことがあります行政の援助(お金など)はあるのでしょうか。ペットの避妊、去勢を促してはどうでしょうか。市町村でお金の援助をしているところもあるそうです。(野良猫を増やさないために)ペットがかわいそうなかわれ方をしているところがあるので見ると苦になる。 ある程度決められた人だけの活動、事業になっていると思う。弱者も参加したいと思えるものがあると良いと思う。
女	60代	車で行けました。どこに行きたかったの？と近所の人に干渉されるのがいや！！帰りが遅いと「何で遅くなったかい？」いちいちうるさい！！プライベートな時間まで聞かないで、自由にしてほしいです。 このアンケートが何のためなのか？集計だけで終わらないように！！ 本当に今の80代、90代で1人暮らしの方が元気に過ごしていること自体びっくりします。気丈だなと。田舎も町もまずは両隣の人の大切さ。親族以上にありがたいことがたくさんありました。自分も人の役に立ちたいですが、今は目の前の課題であっふあっふです。 提案:救急車の小国町への乗り入れ(公立小国町病院)へ。現在は救急車が直接小国町公立病院への患者搬送(急患)が出来ていない。大分県と熊本県と言う事で乗り入れが出来ないのはおかしいと思う。小国町の救急車は15分で中津江に着きます。大山町より中津江、上津江に来ると20分位かかり、日田まで40分かかります。小国町までは20分で行けます。大分県、熊本県へ陳情を重ね、早急に解決すべき事と思う。 人が減っていくのが心配。 幅広い年齢層の年が参加できるイベントをしてもらいたい。 子供達の教育を特徴ある教育をして、子育ての場として中津江を選び若い家族が来てくれるといいですね。 ふるさとまつり、金山まつり、村で何かイベントしようと思っても人集めにエネルギーを使うイベントになっています。実行委員会も今までのように各団体の長ばかりでなく自主的に意見を持ったやる気のある人達が実行委員になるべき。PTAの親に参加してもらえば、おのずから子供がついてきます。子供が出れば祖父母が出てきます。とにかく今、中津江村では有言実行のリーダーが必要です。 放畜(養豚、養鶏、牛)の在り方～糞尿の処理の仕方はちゃんとしているのでしょうか、疑問があります。処理の施設はお金がかかると聞いたことがあります行政の援助(お金など)はあるのでしょうか。ペットの避妊、去勢を促してはどうでしょうか。市町村でお金の援助をしているところもあるそうです。(野良猫を増やさないために)ペットがかわいそうなかわれ方をしているところがあるので見ると苦になる。 ある程度決められた人だけの活動、事業になっていると思う。弱者も参加したいと思えるものがあると良いと思う。

		デマンドバスは、将来必ず使うので残してください 10年後今の自治会でやって行けるのか？ 私の集落は80代の人と50歳ぐらいの人が住んでいますが、1人60代の私は話についていけません。そこで、サークルに2か所通っています。地域の活動も中立を保ってます。葬式等の有る時は、嫌になります。また、話し合い等も出した意見に対して討議になってしまうか全く話の柱から離れて喋るので話し合いに行くのも嫌になる時があります。 提案は無いが、主催者に文句があるなら、自分がやればいいので、情報が入った時に選んで行くのが楽しみです。村外のこともあります、体力と経済力が続く限り。 水がきれいであり深くないので、川でのイベントを多く開催して多くの人に来てもらいたい。
70代	男	学校の寮の跡地に公園を作してほしい。(子どもから年寄りまで集まれる場所)グランドゴルフが出来る場所がほしい。 温泉施設の復活 下流域の方との交流を深めるための手段として、カヌーやカヤックを考える。 今、何が 필요한のか！・自立・若い人の活力・あきらめない 高齢化の状況のもとでは、地域の活動 事業に困難を来している。具体的に道路愛護など。 温泉を復活させ、食事可能な施設を併設、鯛生金山、スポーツセンターと連携を密にし集客を図る。 津江温泉の中止が残念。温泉があれば村民の憩いの場にもなるのでは。これまで、利用時間等も検討されていなくて利用しにくくなっていたのでは？ 金山祭りとふるさと祭りを工夫してほしい。農業に従事している人の祭りなのか。祭りであれば心底から笑える楽しい祭りを。 素晴らしい自然を生かす 動ける人は動きましょう。動けるのに動けないふりをする。皆で動けば流れが変わる。 「絆」のような相互扶助の活動がもっと認められる社会になることを望む。 今のデマンドバス運行はタクシーなみに動いている。これは経費が大きくなる。軽自動車運行してほしい。私道で普通車が出入りしているが、道路では市道外は運行しない。高齢者が多い中、見直して欲しい。 お年寄りの野菜作りを手助けできるしくみ。※だんだん体力が落ちていくので、農業ができなくなる。その時、畑の土おこしを手伝ってやれば楽になる。 地域での建設的な意見又提案を取り上げ、検討、実施してくれる行政であってほしい メイプルシロップの産地にすべき 道路愛護など一斉に草刈りをする必要はないのではないか(＝各集落で必要な時に各々の都合でした方が良くと思う)。市報が月2回発行は多くて紙の無駄遣いであり、一括してまとめた広報が欲しい。 今は、後継者問題において財力があるところへ人は流れる。皆がもっと考え方や生き方を考え直さないと予算が無い中では将来は無いと思う。(予算が無いなら無いでアイディアを出し合う必要がある。) (Q7)市役所職員は残業が多いが振興局職員は毎日が時間が来れば帰宅している。対応が悪い。
	女	現時点で食料品などのお店がなく不便です。 金山の来館者を増やすために、子供の遊び場とかシーズンに応じたイベントとかして、人を集める事を考え、雇用の場があれば若い人も自然と帰ってくるのではと思う。 今まで唯一楽しみにしていました温泉を再び復活をお願いいたします。 道路愛護の人出の事で大変困っています。行政に相談すれば高齢者の方は出なくて良いと言っていたのですが、集落全員ほぼ高齢者の人達ですので申し訳なく人夫さんを頼むにしてもいい状態です。業者の人に委託出来ないものかと考えています。 これ以上住民が減らず、活気のある所になってほしい。 歳をとってもたのしくできる趣味やスポーツをやりたいと思います。 人の集まる場所がない(公民館等は、使用料が必要。お茶を飲んだりするところ。) 隣近所の人と末永くお茶のみをしたい 道路のがけ崩れが心配だ 空家の整備をして、すぐに住めるようにしておけば、移住への魅力が高まる。空き家は借り上げ、整備は地域の建設会社が行う。杉等の地元の木材を使用。

		高齢者が増え運転出来ない人が出ています。買物も医者行きもと願う人が話を聞きます。それと、家までの狭い道デマンドが行かないので、バスの小型化も考えたらいいと思います。良かったねと恵比寿顔になるような事をやって下さい。それとデマンドの運転手さんの笑顔が足りないと思います。小さな村の運転手さん、軽く会釈して下さいね。デマンドバスの早朝夜間の運行時間を延長してほしい。 移住者が来てても付き合いが大変。人がいなくなっているが、やっぱり店が近所にあってほしい。隣の小国町までの交通手段を充実してほしい。隣家が空き家なので何とかしたいが、勝手にすると訴訟沙汰の様なトラブルになっても困るし歯がゆい。 とにかく畑荒らしの被害の対策を何とかしてほしい。非常に困っている。 話し相手が来ていただければありがたいです。草刈りが大変です。デマンドバスの運行時間を改善してほしいです(旧日田市内への病院へ行った時には中津江村に着くころには営業時間終了の17時を回っていて運転手さんに申し訳ないです。) (Q7) そりゃー活気ある内に、何かやってくれと良かったのでは。ここ5～6年何も中津江村は変わった事なかったです。少し、手遅れでは？
	男	日田市から大山町→松原ダムの間が道が悪すぎ！とても市内に用事があっても行く気にならない。小国町宮原が近い(道がよく)利便性が高い。 林業や鯛生金山が盛んになってくれたらうれしいです。 仲間つくりを基本に、生きがいつくり、健康つくり地域つくりを目指す 地域の暮らしの楽しさ、幸せがあります、共同作業。毎月の例会、必要に供して積立金の継続、お祭りの文化継承が行なわれていますが、大きな活動ではありませんが、身の丈の活動、親睦は貴重な地域の存在であり、触れ合いですが、又、40代以下は存在しない状況であります。 地域の祭り事、1本にならないか考えて欲しい。 ・地域の中で少人数で集まってどうしたら良いか考えることが必要。一部の人の考え方でなくて、皆で面白くなるような地域活動ができるように。・住民自治組織の話は良い事ではあるが、今回のような進め方は課題。 人の存在がないことには、なにも出来ない。 高齢化、若者が残らない、イベントが出来ない。 足が忘る何事も出来ない 一番に道路をよくしてもらいたい 人は減少していて商売成立しにくいだろうが、店は近所にあってほしい。今は車の運転できるが、年を取って行ってやがて出来なくなった時のことが不安。 津江温泉を勝手に中止にしないでほしい。 車の送迎など近所の人に加勢してくれて大変助かっている。 集会所が自宅から遠いので冬の際は大変である。近所に御店が更に増えてほしい(＝村内に1軒だと値が上がって困る)。 農地と山林の維持管理の担い手を何とかしてほしい。生活支援活動を更に改善してほしい。年金問題など生活保護費の改善をしてほしい。
80代	女	健康活動、軽スポーツ 地域の皆さんとの話し合いの場 60、65才でも、まだまだ仕事は出きる 仕事のある中津江村がほしいです 年を重ねても交流の場があり、楽しくすごしたい。集落内で身近な交流の場があると良いです デマンドバスの利用時間の設定 デマンドバスがあるから助かる 今までは、道路愛護の草刈りに参加出来ていたが、出来れば民間業者の方へ委託していただきたい。 毎月7回実施されていた常会がなくなって困っています。また、私の集落は病院へ行っているという理由で保健師による健康相談が開催されなくて困っています。 若い人のために、仕事を増やして欲しい。 足が忘る何事も出来ない 是非、移動販売をお願いします。週一回、月三回でもよい。 猟師が減少して、庭先の畑に猪が出没して芋を食われて困っている。足が悪いので近所に医師の派出所があってほしい。 道路沿いに花を植えるスペースが無いので何とかしてほしい。藤蔵川のそばで子どもが遊べるスペースを作してほしい。もっと道路標識を設置してほしい(＝初訪者が困惑するだけでなく、自宅へ用事がある宅配業者等の到着する時間が正確になるために)。

		自宅に日田市天ヶ瀬町から肉屋が2週間に1回来るので利用している。私事ですが術後の体で炊事・洗濯などの身の回りの事は出来るけど、なるべく元気に頑張っていきたいです。今も集落に残る‘おすそ分け’文化を大切にしたいです。(問6で10年後の事を尋ねているが)10年後は私も生きているかしら？ 集会所までが遠い。自家用車を持っていないので、集落の知り合いが送迎してくれるので大変助かっている。 金山に行って、従業員の人と話したり、買物をするのが楽しみ
90代以上	男	戦時中及び戦後一時は農林業は成長産業の頃もあり、其の後自由貿易後は所得税も払いきらない。今日の山間地の現状は青年の後継者に対して山間地のこの不況の時残って農林業を続けて行く様な話も出来ません。国や県の助成政策なしではどうにも成らない現状です。自分で40年50年間育成した山林が、労働賃金のみとは所有者は生活はできない現状で有り、誰もがこのままでは猪と鹿の遊び場に成るであろうと。打開策として山林の現状を調査して早く国県の助成を願います。
	女	一人暮らしだが自分のことは自分でできている。集落の集まりには行っても他の人に気を使わせてしまうので最近行っていないが、出てこいとも言われなし、集落の人も良くしてくれている。上津江にいる娘が何かあれば来てくれるので、今のところ特に困っている事はない。
		特にないですが、皆が元気に楽しく暮らせれば幸せです。
		車の便利が悪いので何の活動事業にも出席が思うようにできません。
		老人ばかりで若者がいない デマンドバスはありがたいです